

## 特集 乗ったゾ! 話題のニューモデル

全国一斉発表展示試乗会で、イッキに全開春商戦

### NEW RZ125 新発売

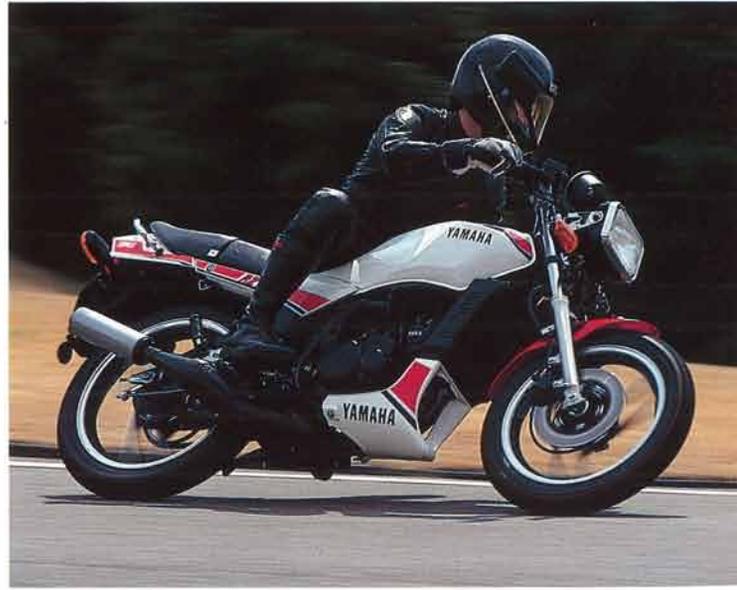


パフォーマンスと商品性を向上

Y P V S 装備の

ニューRZ125 新発売

●カラー…ホワイト/チャビレッド、ホワイト/クールブルー  
●標準現金価格…28万3千円(北海道、沖縄は5千円高)



NEW RZ125仕様諸元

- 全長1940mm ●全幅695mm ●全高1020mm ●シート高755mm ●軸間距離1275mm ●最低地上高165mm ●乾燥重量98kg ●制動停止距離8 m (35km/h) ●舗装平坦路燃費55km/ℓ(50km/h) ●登坂能力25° ●最小回転半径2.5 m
- 水冷・2サイクル・ピストンリードバルブ単気筒・123cc ●内径×行程56×50mm ●圧縮比6.4 ●最高出力22PS/9500rpm ●最大トルク1.7kg-m/9000rpm ●始動方式キック ●潤滑方式ヤマハオートループ ●オイルタンク容量1.1ℓ ●エレメント濾式ウレタンフォーム ●燃料タンク容量13ℓ ●キャブレターVM26 ●点火方式CDI ●点火プラグBR8ES ●バッテリー12V5 Ah ●1次減速(比)ギヤ(3.227) ●2次減速(比)チェーン(2.875) ●リターン式6段変速 ●変速比①2.833 ②1.812 ③1.368 ④1.142 ⑤1.000 ⑥0.916 ●ブレーム高張力鋼管ダブルレールドル ●キャスター25°30' ●トレール86mm ●タイヤ(前)80/100-16-45P(後)90/90-18-51P ●ブレーキ(前)油圧式ディスク(後)ドラム ●緩衝装置(前)オイルダンパー+コイルスプリング(後)ガス+オイルダンパー+コイルスプリング
- ヘッドランプ12V45W45W(ハロゲン) ●ストップランプ12V21W ●フラッシュランプ12V21W ●テールランプ12V5W ●マーカランプ12V3.4W

2サイクル・スーパースポーツの代名詞ヤマハRZシリーズの125cc版として堅実な人気を集めている『RZ125』が、エンジン性能と操縦安定性を一段と向上、同時に商品性もさらに充実して新登場しました。

抜群の経済性と手軽な乗りやすさが人気を集め、さらに二輪免許の段階取得の定着などによって16才〜19才のヤングを中心に確実な拡大をつけている125ccスポーツバイク市場。そんな125cc市場をさらに活気づけるニュー『RZ125』の登場です。

ニューRZ125の新たな特徴

**R**Zシリーズの上級モデルと同様に、先進のヤマハ2サイクル・テクノロジーを搭載したニューエンジンを搭載。キャブレターのボアアップ(26φ)、別体型サイレンサー装備のチャンバータイプ・マフラーの採用とあいまって、一段と扱いやすい出力特性を確保しています。

とくに、クラス最高22馬力/9500回転の最高出力や電子進角式高速遅角型CDI点火による伸びのよい高速パワーはそのままに、Y P V S 効果によって中低速トルクを大幅に向上させたもので、タウン走行などにおいてはしっかりとその威力を発揮します。

**F**ロントに16インチ・ホイールを採用。同時に前後輪ともリム幅を上げ、ニューパターン幅広タイヤを装着しています。また、フロントフォークは、スタビライザーを装備するとともに、インナーチューブもサイズアップして剛性を高めています。

さらにキャスト角、フォークオフセットも変更、ホイールベースも20mm短縮していますが、これら一連の足まわりの改良は、フレーム、リヤアームの剛性アップ、モノクロス・サスペンションの改良とあいまって、操縦安定性を大幅に向上させるものです。

**F**ロントのディスクブレーキに、対向ピストン式キャリパーを採用。



**ハ**ンドルは、細目で小さいレーサータイプグリップのセバレット型に変更。これに合わせて、シートも形状とレザー表面仕上げを改良、同時にシート高も20mm下げ、スポーティなライディングポジションとするとともに、足つき性も向上させています。

**オ**ープン・エア・フィリングを重視して、ネイキッド・タイプとしています。かわってアンダーカウルを標準装備。新採用のニュータイプ・キャストホイール、ニューデザインのメーターパネル、さらにフレキシブル・フラッシュランプブスターなどによって、商品性を一段と高めています。

人気の

キュートに

限定版

パステルカラー

がデビュー

しました。

**Cute:**

少女する色。  
キュートピンク



青春する色。  
キュートグリーン

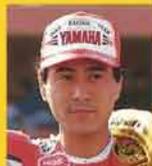
夢見るピンクと  
爽やかなグリーン  
パステル色に染まった  
特別なキュートの登場です。  
進学、就職  
新しい暮らしを軽快に  
スタートさせたい  
そんなボーイズ&ギャルズに  
ぜひおすすめください。



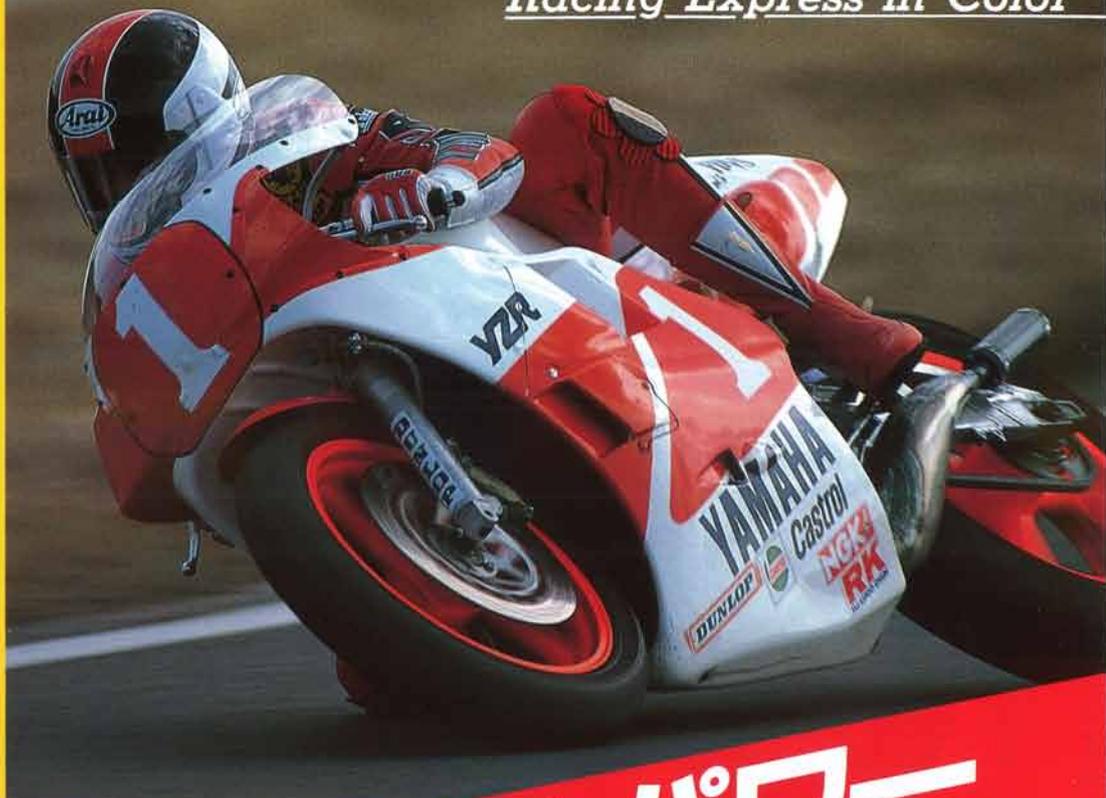
開幕からひと月、早くも話題満開のモータースポーツ。ワールドチャンピオン、E・ローソンとYZR500が、圧倒的つよさで第1戦・南アフリカGPを制覇。世界GPロードレースV2に向けて快調なスタートを切って世界中の話題を呼んでいます。国内でも各競技にヤマハライダーの活躍はめざましく、序盤戦の主役となってシリーズ戦を盛りあげています。

(26ページに各レースの詳細があります)

### V3へまっしぐら! 平忠彦/YZR500



第1戦・鈴鹿2&4でポイントリーダーに躍り出た平忠彦とYZR500は、第2戦・筑波、第3戦・鈴鹿でも圧勝、2位との差を10点と開いている。



# 快進撃! ヤマハパワー



### パーフェクト優勝! 光安鉄美/YZ250

第2戦も雨の全日本選手権モトクロス。4月7日、熊本県阿蘇山麓の難コースを制したのはYZ250の光安鉄美。両ヒート1位の完全優勝で、ランキングも3位に進出した。



### 連続優勝! 伊藤敦志/TY250R

トライアルの成長株No.1として人気の伊藤敦志は、3月24日の九州、4月14日の四国と、全日本2連覇。ポイント争いでも一躍トップに。



特集

乗ったゾ!

# 話題のニューモデル

## 全国一斉発表展示試乗会で、 イッキに全開春商戦

春商戦の開幕を盛り上げる全国一斉発表展示試乗会が、4月13日～14日の両日、全国77会場にてぎやかにくりひろげられました。とくに今年はFZ250 フェーザー、FZ750、SRX400/600からトライ&ボックスンまで、話題のニューモデルの同時登場とあって、お客さまの人気も最高潮。そこでつめかけたお客さまの中から約200名の方にお願したアンケートをもとに、各モデルに対する関心層の実態と彼らの試乗感をさぐってみました。

※アンケートは、東京・葛飾、神奈川・平塚、大阪・北、福井、岡山の5会場で集収したものです。



# 全国一斉発表展示試乗会



# FZ250 フェーザー

スゴイ！  
まさしくこれは4サイクルRZだ！



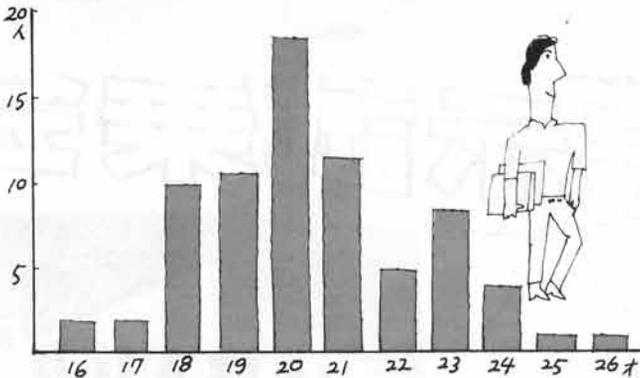
レッドゾーン1万6千回転、クラス初の水冷・DOHC・16バルブ、ハイブリッドシエルフカウルの新スタイル———いまでもなく、今回の試乗会の主役は「FZ250フェーザー」。「スゴイ」———試乗したお客さまの口をひいて出てくるのは、一様に驚きの声。フェーザーのスーパーパフォーマンスは、みなさんのハートをつかんでしまったようです。

幅広い関心層の中でも、18〜23才、中型ロードスポーツユーザー、乗車歴2〜3年の人の関心が一番

群を抜くパフォーマンスと4サイクルなら

ではの「乗りやすさ」を兼ね備えたFZ250フェーザー。それだけに2スト・スーパーバイクオーナーとはちがった幅広い人びとからの大きな関心は当初から十分に予想されたことです。事実アンケート結果をみても、10代から20代前半のヤングが試乗者の大半を占め(図1)中でも18才〜23才までの大学生、若いサラリーマンが高い関心を寄せているのがわかります。女性の姿も決して珍しくありません。(図2)そして、中型二輪免許と普通免許の両方を所有し2〜3年の二輪乗車歴というのが、彼らの一般的なおとこ。(図3)さらに全体の35%は、RZ250やSRX250など250ccオンロードモデルを所有

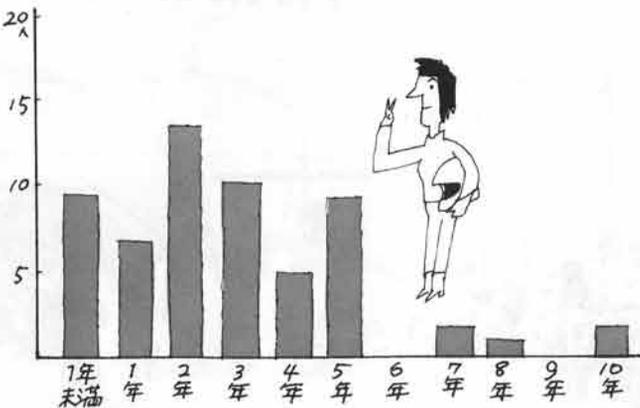
●試乗者の年齢分布(図1)



●試乗者の職業(図2)



●試乗者の二輪乗車歴(図3)





し、22%の人がFZ400Rなどの400ccオンロードモデルに乗っている……つまりFZ250試乗者の半数以上は、中型オンロードモデルを所有していました。そして、所有車はツーリングやチャイ乗りなどのレジャーから、通勤・通学と幅広く使われています。(図4)

こうしたデータから見ると、スバルタンな走り。を求める10代のヤングから、ファッションとしてスポーツバイクを楽しむヤングアダルトやギヤル、さらに税金や維持費など経済的な理由で250ccを選ぶ人びとまで、きわめて幅広い人たちがFZ250にホットな関心を寄せているのがわかります。

また四輪車にも乗りながら、オフロード車やスクーターも持ち、あわせてオンロードのスポーツライディングを手軽に楽しめるモデルを求めてFZ250に乗ってみた、という人が多いことも注目されるところで。



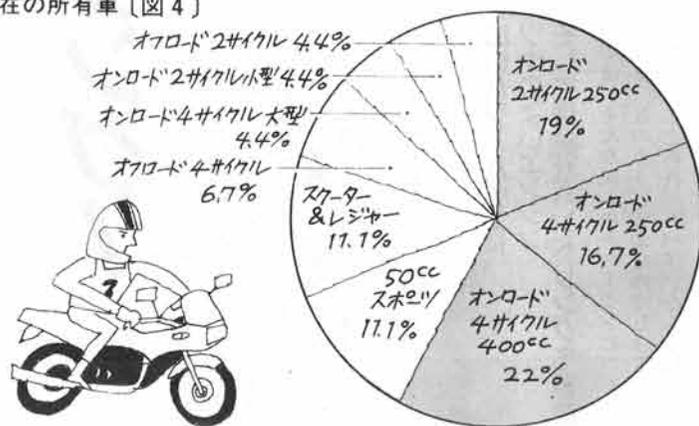
### パワーフィリングと取りまわしの良さには全員がナットク!

革ツナギにフルヘルの完全サーキット装備で、またジャンパーにジーンズ、スニーカーというカジュアルないでたちで、FZ250フェーサーに試乗したみなさんの印象をつぎにみてみましょう。

会場によって試乗の条件が異なるために表現もじつに多種多様ですが、ジェネシス・コンセプトから生まれた前傾・低重心・水冷・16バルブエンジンのパワーフィリングと、コンパクトボディと前後16吋の取りまわしのよさに話題が集中したことはいうまでもありません。(図5)

- ▼スムーズに、良くまわるエンジン
- ▼思ったよりもずつと低速トルクがある
- ▼アクセル・レスポンスが抜群
- ▼1万回転をすぎたからのパワーがスゴイ
- ▼ヘルメットを脱いだばかりのお客さまの口からとび出してくるのは、こんな言葉ばかり。そして次に多いのが、足つき性の良さ、軽さ、ライディングポジションなどです。
- ▼身長160cmのボクでも両足が着いた
- ▼両足がベタッと接地するんで停車中も安心
- ▼125ccなみの軽さで、取りまわしも容易
- ▼ポジションもヒツタリ決まる
- ▼また、「一番印象に残ったこと」を優先してアンケートしているために、比率こそ少なくなっていますが
- ▼ブレーキのフィリングや効き味がいい
- ▼スイッチ類が扱いやすい
- ▼ハイブリッドシェイプカウルの新鮮さ
- ▼振動がなく快適

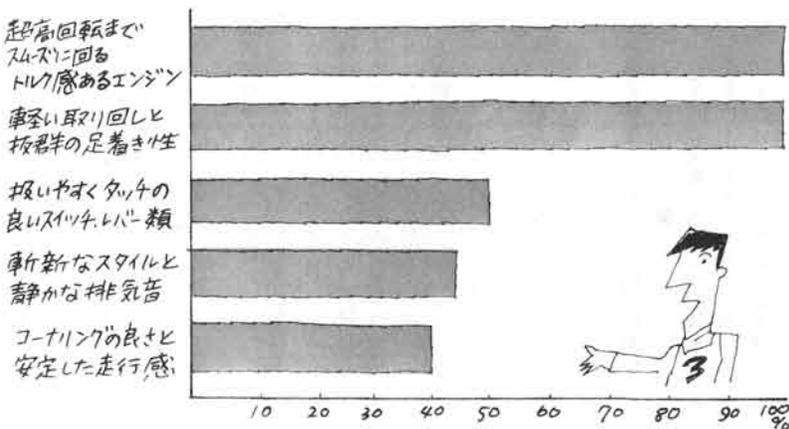
### ●現在の所有車(図4)



▼排気音が気に入った  
——といった機能やスタイル面への評価も高く、FZ250フェーサーの完成度の高さを物語っていました。

そして、こうしたインプレッションを見るにFZ250は、お客さまが専門誌等の情報を通じて抱いていた大きな期待に、しっかりと応えたといえそうです。

### ●FZ250試乗感(図5)



最後に、熱心なヤングにまじって試乗した4人のギヤルたちのホットなインプレッションをご紹介します。最高です。スタイルもいいしサイズもピッタリ。身長154cmの私でもちゃんと支えられます。全部気に入っちゃいました。今までに乗ったバイクでは一番、杉本三智世さん(17才) 福井県武生市

▼エンジンの吹き上がりがいい。タンクもとてもクリップしやすいし、サイズも手頃。次は絶対FZ250が欲しいですね。石貝恵子さん(21才) 埼玉県草加市

▼エンジンがどこまでもまわるカンジ。排気音もとても気に入りました。足がベタタリ地面につくのもステキですね。森谷子さん(25才) 岡山県玉野市

▼私が一番気に入るのは「速さ」。FZ250は、エンジンがすごく良くまわるし、女性でも楽に取りまわせる。いいバイクです。真下和子さん(18才) 東京都葛飾区

# FZ750

## これが噂の ジェネシス・ファイリーリング!



です。最先端のモーターサイクルをしっかりと受けとめる見識とテクニクの持ち主たち。まずは、そんな彼らのプロフィールを分析してみましょう。

FZ750の試乗者が、20才前後の人たちに集中していたのに対してFZ750では、20代前半が多いとはいえないものの20代全般に渡って平均に分布しているのが特徴。また、社会人が全体の7割を占めているのも注目される点です。(図1)

このデータに、彼らの2輪乗車歴を重ねてみるとFZ750に大きな関心を寄せる人たちのプロフィールがくっきりと浮かび上がってきます。乗車経験も3年以上の、中堅ライダー。全員が二輪車を所有し、(内大型二輪所有者は70%)二輪車に対する知識や関心も高く、バイク本来の楽しさや、良さを客観的に判断できるヤング・アダルトたちです。

もちろん、ステイタスモデルを求める気持ちがつよく、「話題のニューモデル、最新のメカを自分のバイクと比較してみたい」とFZ750に試乗している人が多いように、新しいものを正しく理解して、積極的に受け入れようとする姿勢もつよく感じられます。そしてそんな彼らこそ、ユーザーの間でオピニオンリーダーとなり得る人だといえるでしょう。

### 広いパワーバンド、ツキのよいエンジン、そして素直なハンドリングも最高

では、そんな彼らのテストプランに、FZ750は、どのように応えたのでしょうか。表現のちがいがそこあれ、5バルブならではのフラットトルクとクイックなレスポンス、ジェネシス・コンセプトによる卓越した操安性は、

確実に理解されたようです。▼技術の進歩というのを痛感しました。パワーバンドが広く、ツキのよいエンジン。軽く扱いやすいハンドリング。評価は95点。マインナ5点は、今日の試乗では把握できなかった部分への期待分です。大森幹男さん(28才) 岡山市

▼フロント16インチでクセがあるかな、と思っただけハンドリングはすごく素直。シットリとした感じで乗りやすいですね。それに、大型とは思えない足着き性の良さ、安心です。船橋正道さん(22才) 大阪府豊中市

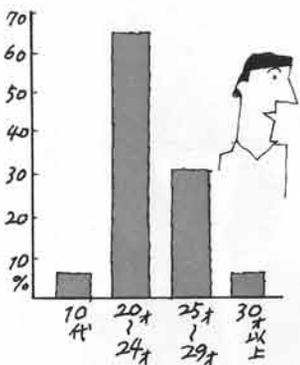
また今回の試乗に当って「代替モデルを決める参考に」とFZ750に試乗したお客さまが約半数ほどでしたが、試乗後は全員が「FZ750を希望」していました。

90年代のモーターサイクルを追求したジェネシス・コンセプトのもとに、最先端エンジン技術5バルブを搭載して話題を呼ぶ「FZ750」。その先進性は、マシン・コンセプトを、テクノロジーを、そして走り、しっかりと理解する大人のお客さまの、大きな共感を呼んでいます。

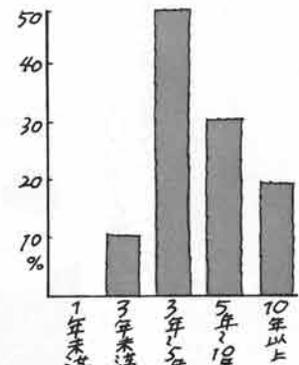
### 話題のニューモデル、最新のメカニズムをしっかりと理解して受入れるヤングアダルトたち

FZ750フェーザーに群がるヤングたちとは、ひと味違った大人たち。それが、FZ750の試乗に集まった人たちの第1印象

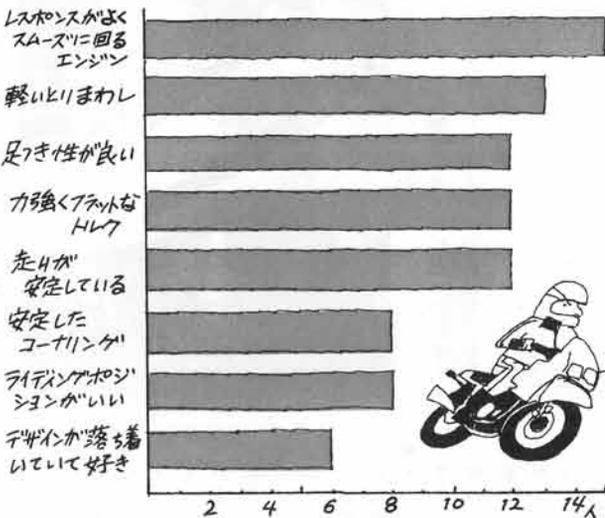
●試乗者の年齢分布(図1)



●試乗者の2輪乗車歴(図2)



●FZ750試乗印象(図3)



# SRX 400/600

## ヤングの間にも テイスト派急成長！



ハイレベルな走行性能とあわせて、モーターサイクル本来の「テイスト」を楽しむSRX400/600によるヤマハの提唱は各地の会場で予想をはるかに越えた幅広い人たちの支持を集めていました。とくに10代のヤングがSRX400/600に寄せ関心の高さをみると、ヤングの間にも、こうした「テイスト志向派」が、確実に増えつつあることを物語っているようです。

### 乗車歴3年以上の ベテラン・ヤングが テイスト派ヤングの中心か？

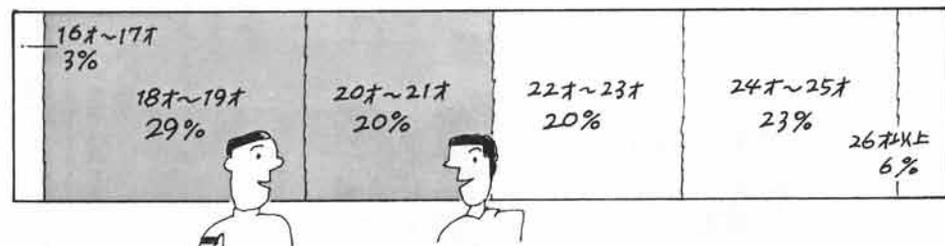
事実、今回のアンケートでも「SRX400/600に乗ってみたい来て来場しました」というお客さまのうち、18才から21才までのヤングが約50%を占めているのです。(図1)そして彼らの二輪乗車歴を見ると経験1年未満のビギナーが約3分の1を占めているとは

いうものの、半数以上はバイク歴3年以上のベテランライダー。さらに現在の所有車を見ると、2スト・クォーター、400ccマルチオフロードモデルからモトクロッサーまでじつに多種多様な特徴です。(図2・3)そして、このアンケートの物語っているところはといえば、レーサーレプリカモデル一辺倒の現在のスポーツバイクの中で、それとは異なった、何かを求めている人たちがヤングの間にも確実に育ちつつある、レーシーモデル卒業派が生まれつつあり、そんな人たちにSRX400/600のハイパフォーマンスとテイストは、大きな夢を与えているといえるようです。

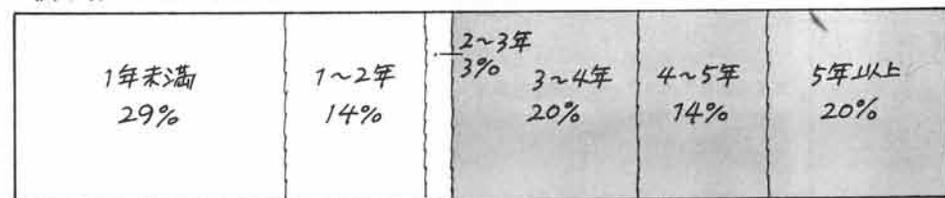
### 走りにプラス 造りの良さとデザインが人気

こうした傾向は、彼らのSRX400/600試乗感の中にも、はっきりと読みとるこ

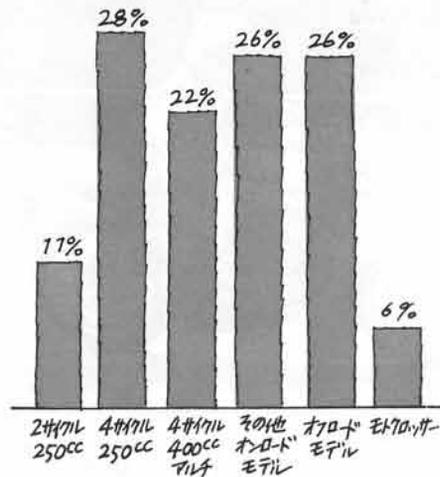
●試乗者の年齢分布 [図1]



●試乗者の2輪乗車歴 [図2]



●現在の所有車 [図3]



### 1日の販売台数30台！

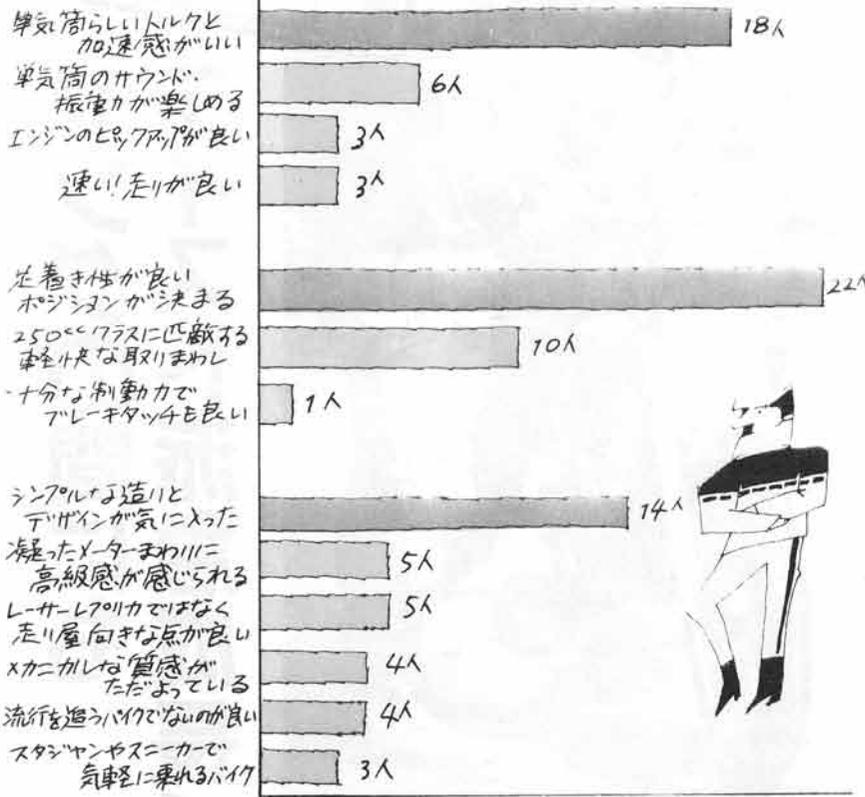
4月14日、札幌市西区発寒の札幌木工センターでも、85ヤマハ・スポーツフェスタ。が市内の販売店9店さんの協賛のもとに開かれました。

好天に恵まれ、シーズンの開幕を待ちわびていた道産子ライダーが大挙来場。駐車場は2千台以上のバイクで埋まり、試乗は申込み者の中から再度抽選で決定するというほどの人気ぶりに、協賛販売店さんもうれしい悲鳴を上げていたほど。

こうした中で、FZ250の8台をトップに各モデルに予約が集中、1日で30台もの成約を上げ、春商戦のスタートに弾みをつけたものです。



●SRX400 / 600 試乗の印象(複数回答) (図4)



とができます。つまり——  
 ▼単気筒らしいトルクと加速感が素晴らしい  
 ▼足つき性がいい  
 ▼ポジションがヒタリと決まる  
 ▼250ccなみの軽快な取りまわしがいい  
 ———といったエンジン性能や走り、操縦性などに関する印象は、おおむね他のモデルと同様ですが、それにも増してSRX400・600のテイステイな部分に対する感想が、とくに多いのが特徴です。(図4)  
 中でも、「シンプルで造りとデザインが最高」という回答が40%にもなっており、さらに「キャストホイールが良く似合う」、「2本のリヤサスが好きた」、「凝ったメーターまわしがグレードの高さを示している気に入った」という声も数多く含まれています。  
 つまり、シンプルなデザイン、各構成部分の機能的な美しさ、さらに燃料タンクやメー



ターハネルをはじめとする多くの部分に施された凝った造りなどによって、強烈に打出されたSRXの「テイスト」は、多くのお客さまにしつかりと評価されているのです。



試乗も兼ねてのスクーター選乗り競走



ニューモデルの開発スタッフと膝を交えてのディスカッションも好評を集めた

来場者を満喫させたもりだくさんのプログラム

今回の全国一斉発表展示試乗会は、どこかの会場も趣向をこらしたもりだくさんのプログラムを用意して、つめかけたお客さまを楽しませていましたが、中でも大きな人気を呼んだのがヤマハ関西大阪支店・北営業所会場。  
 レースビデオ放映、パーツ&用品展示即売、輸出モデル展示、焼きソバ・タコ焼き  
 屋台の出店……他に、スクーター選乗り競争、ヤマハ本社技術スタッフ4名を囲んでの懇談会さらにエンジン博物館と題したカットエンジンの展示コーナーまで設けられたもの。同営業所の若手セールスマン6名のこのユニークな企画のおかげで、お客さまは春の一日を心ゆくまでヤマハニューモデルとともに楽しんだのです。

また、やはり「レーサーレブリカでなく、しかも走り屋向きなのがいい」という声も多く、流行を追うモデルではないので、長く乗れそうが良い。  
 ▼思わず立派な工具を揃えたいくなるバイク  
 ▼スタジャンとスニーカーでもキマるモデルなどの声と同様、ポストレーシーモデルの登場を待ち望んでいた多くの人たちのSRX登場への歓迎の声もありあがっていました。  
 ちなみに、大阪・北会場でSRX400を試乗した17才のAさんは、次のように語っていました。  
 「父はいま49才、SRX400に乗りたがっていたんですけど今日は仕事の関係で来れません。そこで私は代理のつもりで来て、SRXに乗ったんです。とてもなじみやすいしトルクも楽しめていいですね。父にヒタリというよりも、断然私が欲しくなっちゃいました」

# トライ&ボクソン

## パワーがある。加速がすごい「トライ」



最後にトライ&ボクソン、ニューヤマハスクーターの話題をご紹介します。これまでの発表展示試乗会は、どうしても華やかなスポーツバイクが主役。その陰にかくれてスクーターは「時間待ちの間にスクーターにも乗ってみるか」というところが相場だったようですが、このトライ&ボクソンに限ってみるとやや様子が異なり、数こそ多くはないもののフルフェイスヘルメット片手のヤングたちが明らかに購入決定の参考に試乗している姿が目立ったものです。

### 関心層は、代替希望のスクーターユーザーとセカンドバイクを求める250ccユーザー

そんなヤングたちの内訳をみると、全員が22才以下。しかも一見して高校生か大学生といった「学生風」なのが特徴です。次に彼らの所有免許と所有車から、もう少し具体的なプロフィールをさぐってみると、原付か普通免許しかない、つまり二輪は原付しか乗れないという人が3分の1、逆に中型免許の人が6割を占めています。そして半数の人はすでにスクーターに乗り

また3分の1の人は中型二輪（ほとんどは250ccスポーツ）に乗っています。

つまり、すでにシヨクなどのスクーターに乗っているがそろそろ代替えしたというヤング。また250ccスポーツ（なぜかRZ250ユーザーが多かった）に乗っているが、セカンドバイクとしてスクーターも持っている（欲しい）という人たち。中には「つい先日FZ250を買いましたが、足がわりにスクーターが欲しいのでトライとボクソンに乗ってみたかったんです」（東京都江戸川区）などという方もいました。

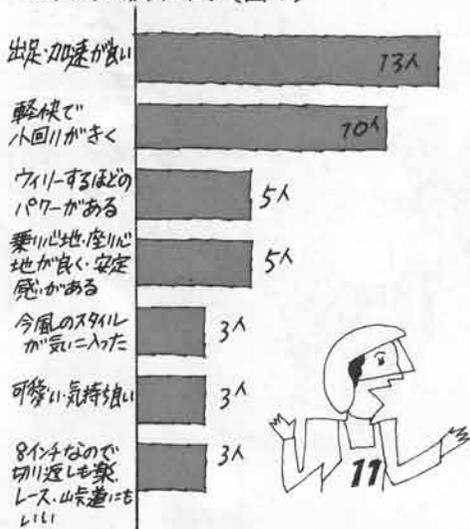
さらに、中型ユーザーの中には「スクーターレースに出場しているので新しいマシンを」とトライを熱心に走らせている若者の姿も何人か見かけられたものです。

そしてもうひとつの特徴的な傾向は、取材した人の半数近くは、具体的に代替えや増車の予定を立てていること。そして価格よりも、「速さ」「軽さ」「カッコ良さ」を車種選択の規準においていることです。

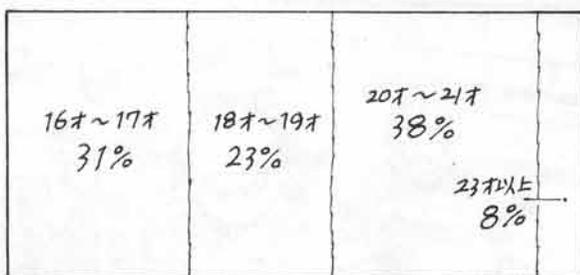
### みんなトライの「走り」に満足！

そんな彼らにとって、大きな収穫となったのがトライの「走り」の良さ。その内訳は図4のとおりですが――

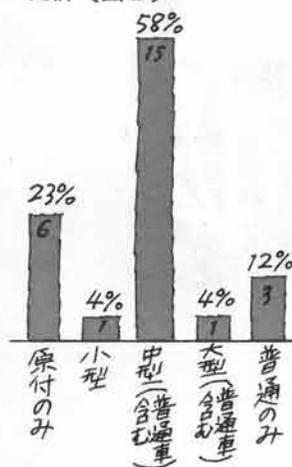
●トライの試乗印象（図4）



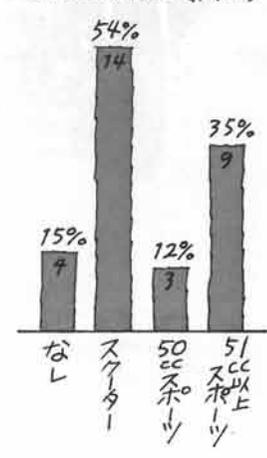
●スクーター試乗者の年齢分布（図1）



●スクーター試乗者の所有免許（図2）



●現在の所有車（図3）



▼パワーがある、スロットルを開けると簡単にウイリーする  
▼加速が最高にいい  
▼軽くて扱いやすい  
——という声が、試乗した人のほとんどからまず第一に聞かれた言葉でした。一方、多くの人がシートを開けてボックス

内部をのぞき込んでいたボクソンの評価はどうでしょう。  
▼見た目の印象よりもよく走る  
——というのが主なところ。そして試乗したすべての人に、ボクソンの実用性の高さが、好感を呼んでいました。



# さあ、ツーリング・シーズン開幕だ!

今年もお客さまと一緒に走ろう、一緒に遊ぼう

## 〔'85 YESSバイクビレッジ・イン箱根〕開催



緑の風によって、いよいよ本格的なツーリングシーズンの到来です。とくに、話題満載のニュースポーツがズラリ勢ぞろいする今シーズンは、ツーリングをはじめお店からお客さまへの幅広い“遊び”の提供が、これまで以上に求められているといえそうです。シーズンのトップを切って開かれた『85YESSバイクビレッジ・イン箱根』でも、そんな期待の音がわき上がっていました。



「これがフェーザー！」「私にも乗せて」開発スタッフが乗って来た'85ニューモデルを囲んで、即席試乗会や技術懇談会もあちこちに出現した



今シーズン初の「油クラブツーリング」となる「バイクビレッジ」に出席するY.S.P.足立環七さんのお客さま。中央が笹川社長

にぎやかに、85YESSバイクビレッジ第1弾開催！  
神奈川県箱根一帯は、関東周辺のライダーにとって古くからツーリングのメッカとして親しまれていますが、4月6・7日の両日には、箱根・小湧園にヤマハ東京、ヤマハ



中部管内のYESSスタッフやYESS加盟店さんが集まり、にぎやかに「85YESSバイクビレッジ・イン箱根」を開催しました。この「バイクビレッジ」は、ツーリングに最適なリゾート地の宿泊施設をヤマハが確保し、これを利用してYESS加盟店さんにさまざまなカタチのツーリングを開催していただき、同時に「ビレッジ」では、各地から集まったライダーのみなさんに大いに親睦を交わし交流を深めていただくことと昨年から開催されているものです。

事実、昨年の「バイクビレッジ」では、関東各地の販売店さんが、林道ツーリングやワインディングロード走行、さらには富士スピードウェイのサーキットランなど、さまざまな趣向を盛り込んだ「バイクビレッジ・ツーリング」を開催してお客さまの人気を呼んでいました。

こうした昨年の大好評にこたえて、2年目を迎えた今年の第1回は関東と中部の合同開催となったもの。東京から、名古屋から今シーズン初めてのロングツーリングを楽しみながら箱根に集まったヤングたち、週末のご商売を早目に切りあげお客さまとともに参加したYESS加盟店さんを中心に約150名が参加。

会場では、Vマックス、FZ750、SRX400/600、FZ250フェーザーなども話題沸騰中の'85ヤマハニューモデルの開発に携わった技術スタッフも、それぞれのニューモデルを駆って顔をみせ、さらにロードレースのヤマハライダー河崎裕之選手も加わって、パーベキューを囲みながらバイク



シーズン到来を待ちわびていたお客さま多数が詰めかけて、今年初の「YESSバイクビレッジ・イン箱根」には150名が集合



お客さまに囲まれてレース談義、バイク談義に特別ゲストの河崎裕之選手はひっぱりだこ



バイクビレッジ、の中心は、ライダー同志の交歓。この日はヤマハの技術スタッフも加わって盛り上がりも最高

新規から代替へと需要の主体が移り、それにつれて商品や販売店さんに対するお客さまの要求もどんどん幅を広げている85年。ご商売の附加価値を大きく高める「YESS」の活動は、お客さまの支持を集めながら成長しようとしています。

「その意味からも、YESSの活動には特に大きな期待を寄せていますし、もちろんクラブ員は会員YESSスタッフとして登録済みです」とおっしゃる笹川社長。  
一方、お客さまの側からも「YESSを通じて我々ユーザーに提供される、幅広いサービスには大いに期待しています」という声が続出。このようにいま「YESS」に対する気運は大きな高まりをみせているのです。

「FZ250、750、SRX400、600とこれまでになくスポーツバイクの商品構成が充実する今年はスポーツ車販売にとって、ツーリングなどきちんとしたユーザーサービス活動が絶対欠かせなくなってきましたね。お客さまにバイクを楽しむ場を提供し、お客さまと一緒に楽しむ、そんな姿勢が店になければお客さまは集まらないでしょう」と語るのは、東京・足立区でご商売する「YSP足立環七」さん。笹川清社長みずからXRZV500E・IIを駆り、RZV500Rのクラブリーダー武内徹さんとともに、今年7年目を迎えたお店のクラブ「CTW」のお客さま15名を先導して「バイクビレッジ」に参加されていました。

こうして、今年のツーリング・シーズンの開幕をにぎやかに盛りあげた「85 YESSバイクビレッジ」の中で特に注目されたのは、スポーツユーザーのみならず、YESS加盟店のみなさんも、YESSを中心としたこうしたユーザーサービスに昨年にも増して大きな期待を寄せていることです。

### お客さまから販売店さんから 2年目のYESSに集まる大きな期待

談義に夜の更けるのも忘れて、花を咲かせていました。

# YAMAHA RACING SPIRITS

シリーズ2

## 証言で綴るヤマハ挑戦の記録



第4回富士登山レースに先立って富士宮市・浅間神社で必勝祈願をする選手団



'55年11月、第3回富士登山レースを圧勝で飾ると、まもなく175cc YCIのテストにとりかかった。左から小長谷茂、星野幸男、岡田輝夫の3ライダー

# 浅間火山レース完全制覇と 高性能・高品質「ヤマハ」の浸透

徹夜の修理で4位入賞  
ヤマハの上位独占に加わった感激

1955年。ヤマハは創業半年を経ずして国内二大イベントである「富士登山レース」と「浅間火山レース」を制した。これにより多くのメーカーが割拠する戦国時代のモーターサイクル界に、不動の地位を得て、幸先の良いスタートを切った。

そんな、新進気鋭のヤマハにあって、若い情熱のすべてをレースに注ぎ込んだヤマハラライダーたちもまた、その力づよい担い手であった。現在、静岡市中田でヤマハ専門店「星野モーターズ」を経営する星野幸男氏(51歳)もその1人。彼は、富士登山レースに第1回から最終大会となった第4回まで欠かさず出場した記録を持っている。

「私は3度のメシよりもレースが好きで、第1回から富士登山レースに出ていました。モータースポーツなんて他に何も無い時代でこのレースには静岡県をはじめ地元もずいぶん力を入れていましたね。最初の頃はレギュレーションの不備でトラブルもあったけど……」

実はこの星野氏、第1回富士登山レースで5位に入賞した。ところが1位から4位までが改造車だったことが判明して失格となり、彼が繰り上げ1位になることになった。しかし「ゴタゴタはイヤだ」といってこれを辞退したというエピソードの持ち主でもある。星野氏18歳の時の話だ。

この星野氏は、'56年の第4回富士登山レースからヤマハチーム入りし、YCIを駆って

YCIを駆って第4回富士登山レースに出場した星野選手。前日のトラブルを徹夜で直し、みこと4位に喰い込んだ



出場した。結果は、砂子、小長谷、下良につづいて第4位。5位にも谷口が入り、ヤマハチームの上位独占に一役買ったのである。この大会では、125ccクラスでYAIが前回同様上位を独占。野口種晴をトップに、望月、壬生、宮代、塚本、益子の6台のYAIが順序よくゴールして、「ヤマハつよし」のイメージを決定的にした。

「第2回から主催者が、オートバイ雑誌社（現在のモーターマガジン社）に変わり、第3回からはMFJの公認レースにもなったんです。静岡の塩沢支社長（現同社顧問）が、レギュレーションづくりから、開催のための地元との折衝、選手の面倒、そのうえ関係団体からの賛助金集めまで、ほんとに東奔西走されていました。塩沢さんも青春をレースにぶつけていたんでしょうね。」

そんな中で、私もYCIに乗ることができるようになったんです。直接川上社長（当時）に会えるなんて思ってもいませんでしたので、

レースの時は本当にビックリしました（星野氏）  
この富士登山レースでやっと賞金らしい賞金が出るようになった。1位は10万円というもので当時の給料が1万2〜3千円だったのだから、いかにその賞金が凄かったかがわかる。  
「やはり、私にしてみれば第4回の富士登山レースが一番思い出深いですね。ライダーはみんな20歳前後でしょ。渡瀬善三郎監督のもとで、朝、昼、晩と厳しいトレーニングを重ねたのです。ヤマハが創立して2年目。やはりその前の年の富士登山と浅間火山レースでの勝利の余韻が残っていたのでしよう。とにかくハードでした。しかし、監督も選手一人ひとりに気くばりをしてくれる人で、チームワークは抜群でしたね。」（星野氏）

最後の富士登山レースでもヤマハは磐石の態勢で勝利を目指した。「それに私にとっても一世一代のレースでしたね。レース前日の練習中にエンジンが不調になったんです。せっかくヤマハファクトリーとして走るのだから、絶対に欠場できない。必死で修理しました。やっと終ってテスト走行したのが確か夜中の12時頃。まっ暗闇のコースを夢中で走って、ナラシをしました。パワーもその前のようにはなかったんですよ、本当のところ。レースでは簡単に抜き去るところを抜けずに苦勞しました。だからコーナーなどでは120%の走りですよ。汗びつしよりの力走でした。それで4位だったから自分なりに納得できました。選手もみんな入賞したし、それじゃ一気にバーツとやるかということ、全員で一晩飲み明かしたんです。あの時は嬉しかったですね。ホントに星野氏は心から感慨深く語ってくれた。スピードに命を賭けた男の本当の心意気が手にとるように伝わってくる。

この第4回富士登山レースには、あの伊藤史朗も出場していた。17か18歳、ライラックからヤマハに乗りかえ、メキメキと腕を上げていた時だ。「でも左コーナーじゃ負けなかつたな」と星野氏は今も目を輝やかす。



第4回富士登山レースで上位を独占したYCIの上級車として、いよいよ250ccがデビューした。YD1Aである。このマシンこそヤマハの2サイクルイメージを強烈に人びとに焼付けたルーツの存在であった。もちろんそれはレースに勝ってこそはじめて評価される。そのデビュー戦となったのが、その年の10月に行なわれた第2回浅間火山レースである。

最後の富士登山レースでもヤマハは磐石の態勢で勝利を目指した。

### 250cc進出を飾った浅間火山レース圧勝！

1957年（昭和32年）ヤマハ創業から3年目。175ccながら250ccクラスに出場し

破竹の勢いでレース界を席巻してきたヤマハにしてみれば、この浅間。こそ250ccクラスに進出するためのもっとも貴重なレースだった。純粋の工場レーサーとして仕立てられたYD1A(B)は約26馬力。パイプ式フレードルタイプのフレームにドルフィン・カウリングをつけている。タイヤこそブロックタイプだが、一見してそれは現在のロードレーサーのスタイルだった。もちろん詰めかけた観客はYD1の風変わりなスタイルに釘付けになったのである。  
「マイペースを守った益子が優勝したんだよ。」

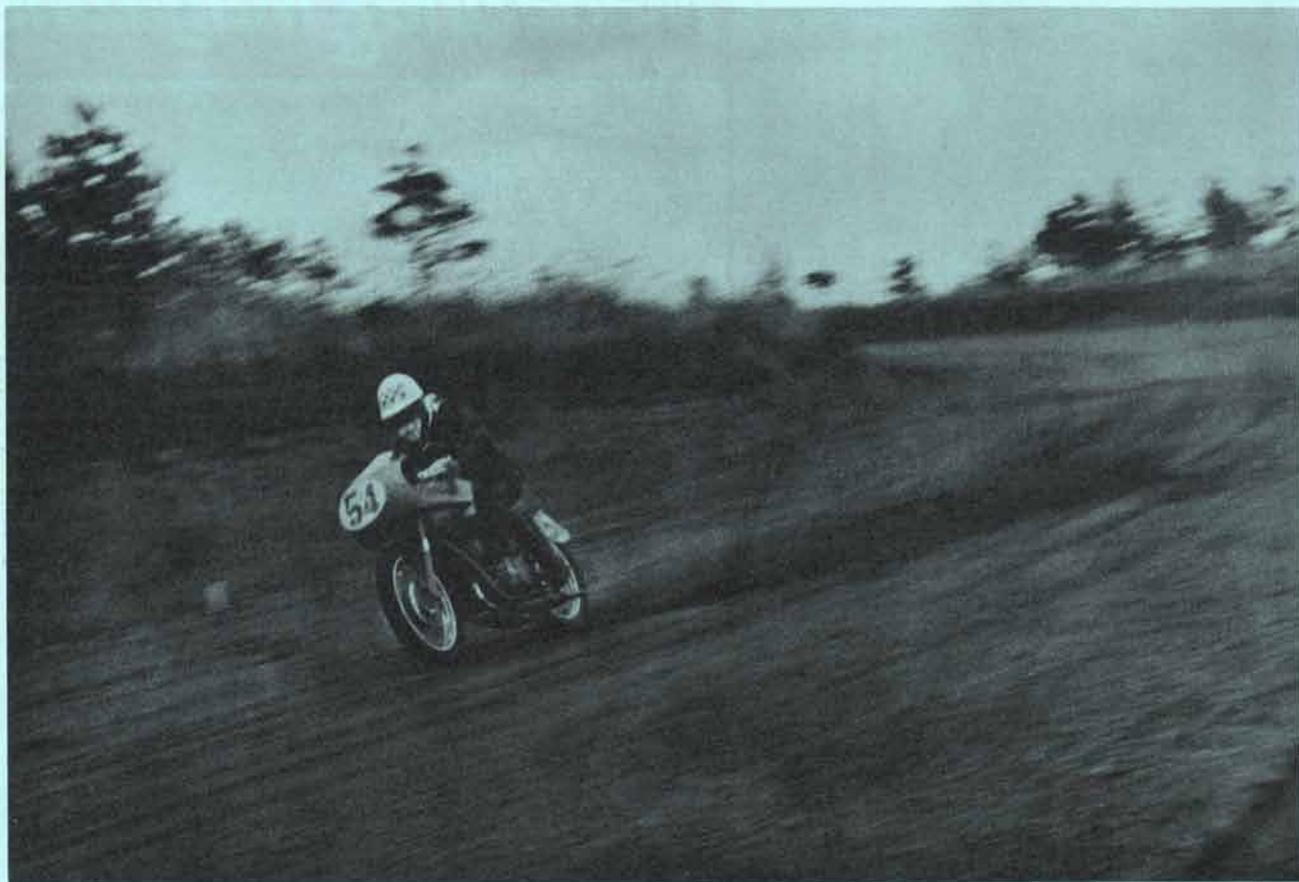


↑YAIをボアアップしたヤマハ130に乗る塩沢昇一氏（昭和32年当時）



星野氏は、現在静岡市でヤマハ専門店「星野モーターズ」を営む

第2回浅間火山レースでYD1Aを駆る野口種晴選手



ボクはクランクが焼き付いてましてもリタイアだった。2位に砂子、3位に下良が入って、まずはヤマハとしては好調な滑り出したね。伊藤史朗はスタートから完全にブツ

チギリだったけれど、7、8周でクランクが壊れてリタイア。ボクも伊藤も飛ばし過ぎたんだな」  
当時エース格だった野口種晴氏は、まるで

昨日のこのように、はつきりと語る。

この第2回アサマでは、7社28台の工場マシンが参加した125ccクラスでもYD1Aに乗る大石、宮代がワン・ツーを決めた。125cc、250ccともに他社のマシンよりも軽量で操縦性に優れたヤマハ——そんなイメージが急速に固ってきた時でもあった。しかし、それだけではないと野口氏はつけ加える——  
「参考にしたドイツのアドラーよりも軽くて乗りやすかったけどね、それだけじゃない。車体の塗装やメッキもDKWやアドラーよりも良かったね。いや、これは掛け値なしの話だよ」

YD1AがそうであったようにやはりYD1に続いてYD1もその「仕上げ」の美しさが話題を呼んだ。そしてそれがしだいに「高品質ヤマハ」としてイメージづけられてゆくのだった。

### 日本メーカーのトップを切って 海外レース挑戦

しかし、富士登山レースが姿を消し、浅間火山レースも下火になって'58年、'59年の浅間火山レースは、結局クラブマンの手で開かれることになった。'59年、最後のアサマで、野口種晴氏は、YD1Aの市販モデルYD S1を駆り、耐久ライト級3位、350cc級に優勝を飾る。

「ヤマハのバイクは、当時売れに売れていたんです。だからメーカーとしてはレース活動よりもユーザーへのサービスに力を注ぐことを考えるようになったんですね(野口氏)」

というように、ヤマハのレース活動も時代とともに軌道修正を始めていた。その最大の狙いは、井の中の蛙ではなく、もつと海外に目を向けようということ。それは、'58年にすでに日本メーカーのトップを切って海外レースに挑戦を始めたことでも証明される。

海外レースへの挑戦。川上源一社長(当時)がこの意思決定を下したのは、急成長しつつあるアメリカの市場性に着目したからにほかならない。'59年、創業時のレース挑戦と精神は同じだった。カリフォルニア湾に浮かぶリ



パイプフレームにドルフィンカウル、第2回浅間火山レースの250ccに登場したYD1Aは注目のマトとなった

ゾートアイランド・カタリナ島で開かれるカタリナ・グランプリに、ヤマハは賭けたのである。

起用されたライダーは伊藤史朗。マシンはYD1Aでこのクラスには32台のライバルがいた。ハイテンションコンロッドを右左さし違えるというミスによるタイムロスにもかかわらず、彼は後半の大健闘で6位入賞を果たした。

「レースに同行した川上社長にしても6位という成績には大満足されていました。これによってヤマハの名はアメリカ中のバイクファンに知れわたり、後のヤマハ・インターナショナル・コーポレーション設立の貴重な手がかりを作ったんですよ(野口氏)」

より良いバイクを作るための、重要な手段としてレースは常にヤマハの鍛練の場であった。50年代草創期のヤマハに賭け、レースで闘った男たちのスピリッツはこうして60年代のヤマハに受け継がれようとしていたのだ。(つづく)

各界専門誌編集長が語る当世若者気質

# Magazine & Magazine

Part. 5



編集長 甘利博正氏



「別冊マーガレット」

(発行) 集英社  
 (創刊) 1962年に創刊した『週刊マーガレット』の別冊として、1964年に誕生。以来、新人養成部門的な役割を担って、月刊ペースで発行。平均180万部というビッグ「少女マンガ雑誌」としての現在の地位を築く。  
 (読者層) 女性を対象に、下は小学生から上はOLまでと幅広い読者を獲得。なかでも高校生を中心に、中学生から大学生までのヤング層が主要な部分を占める。  
 (編集方針) 「基本的には娯楽があればいいと思っているけど、その中にも感動する何かを常に盛り込みたい」とは、編集長の弁。真面目さを大切に、しっかり人を見る目を養っていきたい——というコンセプトのもとでさまざまなドラマを盛り込んでいる。  
 (編集内容) 総合情報誌である。従って、少女(女性)が関心をもっているものならジャンルを問わずに掲載している。原則的には読み切り完結物が主体。現在、人気を集めているのは①学園恋愛もの、②タレント・モデルもの、③感動もの(生き方)。  
 (編集長プロフィール) 1966年4月に集英社に入社、『少年ブック』(現在の『少年ジャンプ』の前身)を皮切りに、『週刊マーガレット』、『りぼん』、『別冊マーガレット』を担当。6年前より副編集長を務め、今年4月付けで編集長に就任。1943年8月5日生まれ、血液型A型。



この10年の女性の進み方というのですが、それがスゴイ。  
 たとえばマンガの主人公でいいますと、10年前といえば「ベルバラ」の池田理代子さんの時代だと思えますが、ここでは男の子といえはスポーツができて、カッコイイ。逆に、女の子はあまりカワイクなくて、ドジでコンプレックスのかたまり。それがマンガの世界

「女性の時代」といわれている今日、その心理をつかんでいなければ、即、売り上げにひびくという少女マンガ「別冊マーガレット」を手にかけて13年の甘利氏は断言する。「女性は男性より進んでいる」と。  
 さて、読者も女性なら執筆者(マンガ家)も女性という「別冊マーガレット」。その中で孤軍奮闘する編集長・甘利氏の現代女性分析とは……。

## 男子と女子の興味のもちどころが接近

女の時代といわれていますが、読者も女性なら筆者も女性という少女マンガの世界ではどこにも変化が見られますか。  
 「ずいぶん変わったなあーと思います。特に

この10年の女性の進み方というのですが、それがスゴイ。  
 たとえばマンガの主人公でいいますと、10年前といえば「ベルバラ」の池田理代子さんの時代だと思えますが、ここでは男の子といえはスポーツができて、カッコイイ。逆に、女の子はあまりカワイクなくて、ドジでコンプレックスのかたまり。それがマンガの世界

# 「女性が受け入れる感情の幅がぐーんと広がってきていますね」

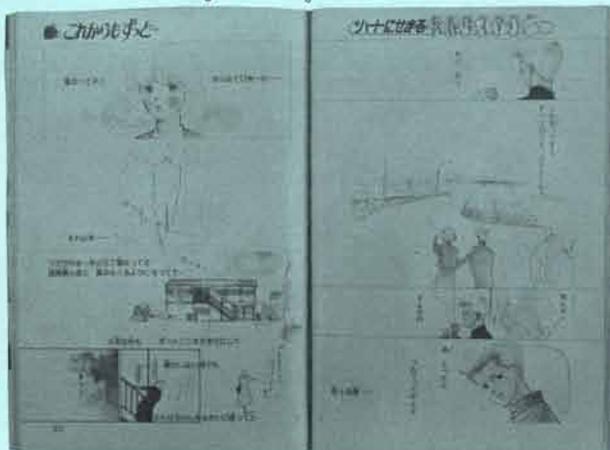


では非常にうまく恋愛したり、いわば女の子のコンプレックスのうら返しの世界でした。「ベルバラ」にしても、シンデレラ願望という意味では変わりません。  
 そうそう、男の子はもうひとつ、バイクというのがありますね。いわば悪の魅力というか。とにかく10年前というのは絵に描いたような「おとぎ話」的世界に女の子はあこがれていたと思うのですよ」  
 —それが最近変わってきたというのは……。「あのチェッカーズというのですか、とにかく男の子がやさしくなった。一時、男と女は対立したと思います。ウーマンリブみたいに最近では、女性雑誌でもドンドン。いい女とは何か。みたいな特集を組むわけで、互いに理解しあおうっていうのが主流ですね。ボクは、現代はユニセックスの時代だと思

—そういえば、10年前にはやさしそうな男というのはテーマにならなかった。あの頃はギンバエとかツッパリが主流だった……。「そうですね。だから、ツッパリからやさしさの時代になっていると思う」

## いま、女性の感性が花開いている

うんです。男の子と女の子、興味のあるところも似ています。ディスコ、バイク、タレント、ファッション……。  
 それでチェッカーズ、というわけですが、この間、盛岡の栗石という所に行きましたね。ここは普段はディーゼルカーがゴトゴト走っている非常にひなびた駅で、まあ辺りな所なんですね。ホームに男の子と女の子がいて、男の子はチェッカーズみたいなカッコして、女の子は赤いホッペの田舎の子という感じ、2人とも地元の子供です。カップルですよ。ほくはここに時代感を感じましたね。  
 赤いホッペのまじめな女の子が、チェッカーズみたいなファッションナブルな男の子とカップルなんですよ」





— そんな中で女の子も変わってきた。  
「その変わってきたという面にはいろいろあると思いますが。」

まず一番驚かされるのは、意識の変化というんですか……。

小誌に連載のいくえみ綾という作家なんかはスゴイです。「エンゲージ」というマンガの中で、主人公が大学へ行くために地方を離れて上京するのですが、彼のガールフレンド、本当は行かせたくない。昔なら、行かないで泣くところを、その女の子は、好きだから「キレイ」と表現してくるわけですよ。

こういう女性独自の感性が表現できる——それも普通の男なら40才になってやっとわかるという微妙な女性心理ですよ。これ、表現力という意味で本当にスゴイ。女性の感性が花開いていると思いますよ。

そしてネ、もうひとつ。それぞれのカット割りの中で、男の子の表情を少しずつ違えて表現する。こんなこと、いくらうまい役者が

映画などで表現しようとしてもできませんよ。そんな点で、少女マンガの世界が進んでいると同時に、女性が進んでいるなあ——と感じます」

### 女が男を選択する時代を迎えている

そのほかにはどんな面がありますか。

「あの最近の女子大生でも、ビートたけしとか、明石家さんまをカワイイと言うでしょ。ああいう笑いを理解できるんですよ。

なぜかって言うと、彼女たちが男の人をつくり見るといふか、選ぶというか、そういう風になってきてますね。

たとえば、紡木たくという作家の描いているマンガでは、テキヤの兄さんが主人公になっています。

この舞台はヤクザな世界ですよ。そういう中で、リンチを受けた主人公を介抱したりする、普通の女の子がネ。はっきり言えばマイナーな世界の話でしょ。少女マンガの世界じゃない。ところがこれがうける。

主人公は、カッコ良くてスポーツ万能なナイトみたいな男じゃない。どちらかといえば



はみ出し、社会生活を満足に送れないダメな奴、そういう人間でも男としての魅力が出るし、恋もする。

他の場合でも、主人公はメガネをかけた男だったり、スポーツができない子だったりする。そういう主人公に対して、いいところを見つけていくというか、女性が受け入れる感情の幅がぐっと広がってきた。だからビートたけしも理解できるんじゃないか。

— 女の子の方が大人だということ。

「そうですね。それにまじめです。あの、バーなんかは飲みに行くでしょう。そこに勤めている人、つまり女給さんですが、彼女達なんか男の人で苦労している人が多いんですけど、その彼女達が『別冊マーガレット』を読んでいる。

ここでは、少女も大人の女も、意識として通じるものがあるということでしょう。男の人に対して、あるいは人生に対してまじめに取り組むという姿勢がある」

### もはやバイクはテーマではなく小道具になった

なるほど。ところで先程、バイクというテーマも出てきたと思うのですが。

「そう。バイクというのはもう当たり前というか、風景になりました。

これさっきの話と重複するけれども、ツツパリがうけてた頃はバイクというのは何か危険な魅力がありましたよネ。ところが、チェッカーズの時代だから、もうバイクはテーマではない。むしろ小道具として当たり前になったと思う。

それと、女の子はバイクを道具としてうまく使えるのではないですか」

— といいますと。

「今の女の子の理想像といいますと、たぶんテニスが好きで、おいしいものに目がなくて、ロックが好きで、タレントにも興味があり、そしてスクーターに乗っていて、自分で学校と家以外の世界にふれたいと思っている

女の子——と言えるのではないかと思います。スクーターに乗って、ホコ天に行つて遊びたい。新しい冒険を求め、愛と思いやりを大切に、そんな女の子がいたいと思つている。だからバイクは、生活の領域を広げる道具として便利だし、女の子は頭が良くて、そんな道具をうまく使いこなす」

ツツパリからやさしさの時代になって、女の子は当たり前道具としてのバイクを使う。そして恋をする相手はテキヤの兄さんでも、メガネをかけたスポーツおんちの子でも、ち



やんといふところをさがして、じつくりつきあう。コリヤ、女の子の方がスんでいるわけですよ。

「そうですね。男の子の方が、うわついているというか、不和雷同型が多いんじゃないですか。バイクといえはみんなバイク、チェッカーズといえはみんなチェッカーズですかね。

私なんか、どちらかというとモテないタイプですけど、こういう進んでいる素晴らしい女性読者や筆者とおつきあいでできる。それだけでスゴクうれいんで、うんとサービスタいと思つてます(笑)

情報スクランブル

●お忙しい販売店さんのための情報アンテナ

BOOKS

●古き、良きバイクたちをカラーで紹介  
『日本のウィンテージバイク』

戦前の国産バイクをはじめ、現在ではほとんど目にしなくなった古き良き国産バイク57台をカラーで紹介するとともに、これらのバ



イクと共に生きた人々のエピソードもまじえた14ページ。もちろんヤマハの第一号車『Y1A』も、しっかりと収録されています。あすか書房/¥2800

☆☆☆  
●男の器量も必ず上がる  
『本音で生きたい/女の器量はこぼしだい』

デパートの若い女店員さんに、「これ包んでいただけませう」と頼んだところ、彼女は元氣よく「ハイッ、ただけませう」と答えた。もちろんまわりは大爆笑。彼女は頬を染めて「あ、すみません。言葉づかいは間違っているのですが、なぜかこのとき著者は悪い気はしなかったと書いています。むずかしい日常の言葉づかいかからセールストークにまで、役



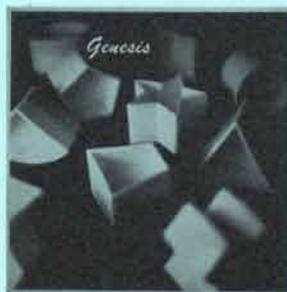
立つエピソード満載の1冊です。

広瀬久美子著 朝日新聞社/¥980

DISK

●音楽の世界でも最先端を走ってるジェネシス  
『GENESIS』

ヤマハのニュー4サイクルコンセプト「ジュエネシス」と同名のロックグループ。その演奏は幻想美とロマンチズムにあふれ、かつ力強くとまじり時代の最先端をいくサウンド。最新アルバムからは「ママ」「ザッツ・オール」ホームバイ・ザ・シー」などがおすすめです。



WAVE・BESTS

単気筒がツービートなら、マルチはエイトビートか? とにかくバイクと音楽は相性がいい。BGMの最新情報、六本木「ウェーブ」の洋楽LPレコード売上げベスト5です。

1位 ノージャケット・リクワイアード	フィルコリンズ
2位 ビハインド・ザ・サン	エリッククラプトン
3位 シーズ・ザ・ボス	ミック・ジャガー
4位 サナイトアイフイルイン	ルーサーヴァルトロス
5位 タイヤモンドドライブ	シャーデー

TOOL

●姿見に直し、店内を広く見せるに直し  
『フィルミラー』

ひと口で言うとう鏡なのですが、素材がガラスではなくフィルム状のポリエステル。そこで、割れない、軽い、大きい、しかも裏も表も使えると、とにかく良いことづくめなのです。壁に掛けて、天井から吊るしてと使い方



も自由自在。お店にもひとついかがです。

問い合わせ 大塚包装工業(株) ☎03(531)9644 / 65cm x 4.5cm ¥8000 (フィルム・フレーム一式付き)

☆☆☆

●ステッカーウェアに付けるのは無理  
『パッチキット』

写真や雑誌の切り抜きで、誰でも簡単に素早くオリジナルパッチを作ることが出来ます。お店やクラブのオリジナルステッカーは良く見かけますが、パッチとなるとまだ目新しいハズ。目立つこと受け合いです。このパッチマシンはレンタルもOKです。問い合わせ (株)あんボックス ☎03(464)6485



CHEMICAL

●ハイブリッドシェイブカウルを磨くには  
『ペーパーリニカ/AT6029』

お客さまから預かった大切なバイク、納車の前にワックスを掛けただけ、静電気でホコリだらけに。こんな時に役立つのがこの「ペーパーリニカ」です。静電気を起こさない特殊素材なので、ホコ

HOBBY



リやケバ立ちの心配がなく、プラスチックやFRPなどのカラ拭きに最適です。問い合わせ (株)オーティテクニカ ☎0427(29)5111 / 10cm x 21cm / 150枚入 ¥850

●プラモデルにはもったいない豪華さ  
『XV1000ブルー』

RZV500RやYZR500などが揃っている田宮模型の1/12オートバイシリーズに「XV1000ブルー」が加わりました。各部パーツの精密さは従来品と同様、しかも本物の迫力と豪華さを出すために、メッキパーツ数も約60点にもなっています。田宮模型/¥1200



♡店内ビデオ放映に新時代

グランプリレースなどのビデオを店内に流しているお店は多いけど、お客さまは本当にそれで満足しているのだろうか？こんな疑問からレースビデオとあわせて洋画ビデオを流しているのが、神奈川県M店さん。

昨年春からちょうど1年。お客さまの集まる日曜日を選んでの放映で、評判も上じょうとか。ビデオはレンタルショップからの借り物で、作品も毎週替わりです。

「007シリーズとかSFものが若い人は好きですね。ビデオのセレクトは若いお客さまに依頼して、レンタル料を店で負担しているんですが、店で2、3度流し、夜は自宅に持ち帰って家族で楽しんでいるので、安いものですよ」とはT社長。

レーサー並のスポーツバイクを操つるユー

ザーにとつて、レースシーンとはまったく関係のない「ビデオ」が本当の息ぬきかもしれませぬ。

♡街乗りバイクで楽しめる ジムカーナが人気

安全運転の普及にと、お店の近所の教習所を借りて「ジムカーナ」を開催し、好評を得ているのが愛知県のI店さん。

もともとは、オートバイを楽しく安全に乗ろうというテーマで、10年前より続けている「安全運転講習会」が発展したものだ。操作の基本となる、走る、止まる、曲るといふ動作を追求して、楽しくステップアップを図れるようにと始めました。

サーキットのような走り方はできないものの、基本に忠実な日常ライディングに役立つ乗り方が身につくうえに、モータースポーツ



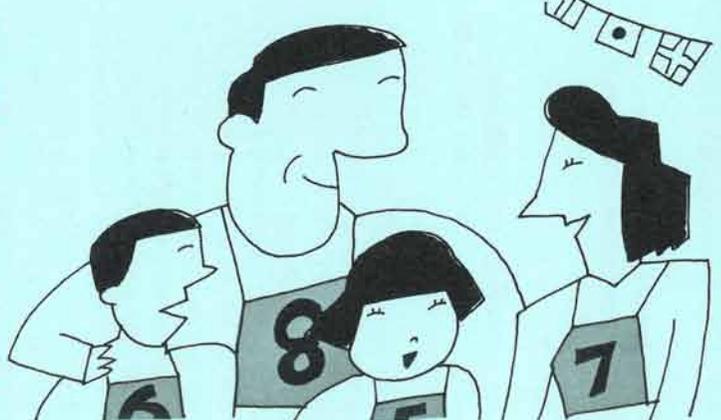
気分も満喫できるとあって、「レースはやってみたいけどお金がかかるし……」というユーザーから大ウケです。

♡ファミリー参加イベントで アダルトライダーをキャッチ

ツーリングだ、レースだと言っては休日ごとに家を空ける世帯持ちライダーたち。もちろん家に残された妻や子は不満アブー。

こんなライダーと家族のために、家族で参加できる「バイク運動会」を企画したのが東京のS店さん。家族全員が遊べることで、ライダーにとつては家族にオートバイを理解してもらえ、5年前の参加者が20名ほどだったのに、今では100名を超えるまでに。

もちろん孫子の代まで長く付き合える個定客の獲得にも役立つハズ。ユーザー確保に悩んでいる販売店さん、お試めにしな



♡大学生スクーターユーザーに新傾向？

ヤングのスクーターユーザーが多いという神戸市のM店さんで、最近のヤングの物選びについてうかがってみたところ、「一時期のファッション性重視から実用性重視に変わってきましたね」との答えが返ってきました。

特にこの傾向が顕著なのは通学にスクーターを使う大学生とかで、彼らのスクーターに乗る理由のベスト3は――

▼通学定期代よりもガソリン代の方が安い  
▼電車やバスのように時間に制約されない  
▼行動半径が広がる

といった具合で、スクーターを選ぶ時に店に聞くことも①燃費はどのくらい②坂道は大丈夫？③荷物は積めるの？と、かなりの実用レベルでスクーターを選んでいきます。

こんなヤングユーザーにこそ、「ボックス」がお勧めなのです。

♡サラリーマンのバイク購入は 会社近くの販売店で

売り手も店の周辺ユーザーから、また買い手も自転車やバイクだったら自宅の近くで、というのが二輪車販売の常識ですが、神戸市のオフィス街で「商売を営むW店さんのユーザーの間では「通勤にバイクを使うなら、職場近くの店で買った方が便利」という意見が多く、お店近くで動くサラリーマンからのオーダーが絶えません。

その理由としては、「サラリーマンの生活ベ-イスは会社で、1日のほとんどを会社か会社の周辺ですごしている。だから修理や点検のときも、仕事をやっている間に整備してもらい、帰りに乗って帰れるし、休日に出掛けていなくて済む」というのが主な理由。これをセールのストークに、お店周辺の職場にアタックしてみたらいかがですか。

従業員さん登場

④

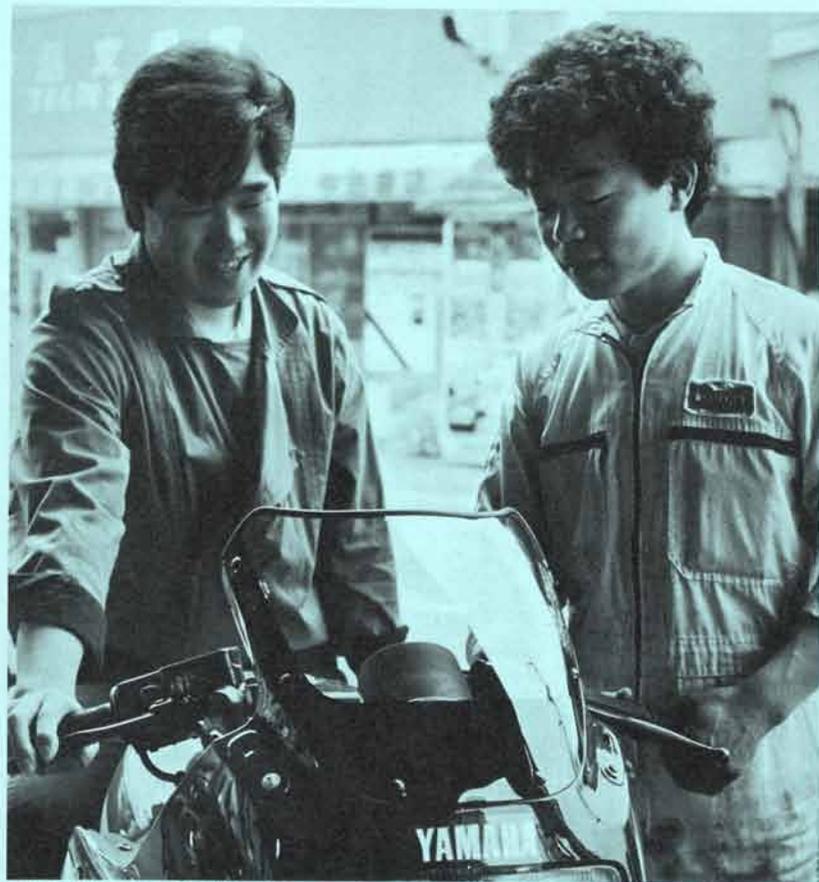
# 今は仕事をおぼえるのに必死、 まだバイクが何も 話しかけてくれないんです。

荏本浩二さん(19才)

スポーツプラザソネカワ/サービス担当(曾根川嘉昭社長)山梨県中巨摩郡

「なんで鉄のかたまりが動くのかな?」と、興味いっぱいにお兄さんの乗るオートバイを見つめたのが小学校5年生の頃。以来、荏本さんの胸の奥でくすぶり続けたこの思いは—

向に酔まることなく、いつしか興味は情熱へと変って、高校生になると免許取得、やがて販売店さんでアルバイトとして働くまでになったのです。



最近では同年代のお客さまも増え、「彼らと出かける月2回のツーリングが一番の楽しみ」という荏本さん(右)

そして高校卒業と同時に、バイトでお世話になった販売店さんの1店「スポーツプラザソネカワ」さんに就職。以来1年、ご商売のキビシさと直面しながらも、大好きなバイクと取り組んで奮闘中です。

## ●形に残る修理をしたい

「好きで入った道ですから、仕事に対する不満はありません。でも、始めたばかりの頃は、夢と現実のギャップみたいなものを感じました。遊びでバイクと接していた頃は、好きなバイクに触れながら仕事ができるということでの商売に憧れていましたが、実際にこれを職業としてみると、外から見ているほど甘くない。オイルにまみれながらの裏方で「すからね」と1年前をふりかえる荏本さん。無我夢中の1年がすぎ今では多少冷静に自分の仕事を見つめる余裕も生まれてきました。「よく社長に言われますが、お客さんはバイクの調子が悪いからお金を払って直して来られるわけですね。ですから『預かった以上は返す時に、修理に出す前とハッキリと差が出る修理をしろ、どこを直したかちゃんと解るような修理をしろ』ってね」

## ●バイク一途。

### いまは他のことに興味なし

「でも、これはやってみると非常にむずかしい。納得のいく修理をするためには、どの部分の具合が悪いのか適切に判断することが第一ですが、この辺のことがまだ理解できないんです。ある程度経験を積むと、エンジン音を聞いたり、ちょっと乗ったりすれば、バイクの方

社長さんから一言



曾根川嘉昭社長

自分も若い頃タタキ上げられ、その頃の苦労が今の結果に繋がっていると思うので、従業員に対する時もダイレクトに注意をします。普段の生活態度は修理にも出るので、ドラダラするくらいだったら休め、なんて言葉も吐きますが、生きていく以上苦労はつきものなので、同じ苦労をするなら若いうちにとけ、やる気になれば出来るんだ、ということも判ってもらいたいです。

が。ここが悪い」と話し掛けてくれると言っていますが、僕の場合はまだまだ経験不足で、バイクが何も話してくれないんです。

ですから今は、仕事を覚えるのに必死ですよ。自分でもちょっとおかしのかなって思うくらいに、他のことには興味湧かないんです(笑)。

どんな小さな修理でも納得のいく仕事をしたいと思っているもんですから、お客さんに仕事をあおられるのが一番うれしいですね」

● 普段の足として「RD250」に乗り、仕事の後や休日にも、繰り返し自分のバイクの整備をして、サービスの感覚を養っているというほどの仕事熱心。

「仕事に入る前はレーサーのチューンをやりたいと思ってましたが、今は公道を安全に走れるように、お客さんに納得してもらえ修理をすることが先決です。

先日ヤマハの技術講習会にも参加させてもらったんですが、普段やっていることの延長という感じで、内容がとても良く理解できました。

やはり毎日の積み重ねが大切だな、と思うと同時に、一日いち日を一生懸命にやるだけだと思っています。具体的にまああしたい、こうしたい、みたいなものは考えたことありませんが、今やっていることは、将来必ず役立つと思っています——と、ひたむきにバイクと取り組んでいる毎日です。

## 盛況！第14回東京モーターサイクルショー “SRX250”最優秀二輪車大賞受賞！



↑トライ&ボックス、ニュースクーターも人気上昇

→SRX600をモディファイした、こんなプロトタイプも参考出品された



↑ヤングからアダルトまで、男性、女性を問わずナンバーワンの人気を集めたFZ250フェーザー

バイクファンに本格的なシーズン到来を告げる恒例の「東京モーターサイクルショー」が、今年も3月21日から4日間に渡って開かれました。今回は、会場も東京・大田区平和島の東京流通センターに移され、来場者も4日間で4万人を数えるほど

どの盛況ぶりです。中でも、会場入口に展開されたヤマハコーナーは、最高的人气。FZ250フェーザー、FZ750、SRX400/600など話題のニューモデルを見て、触れて、またがついてみようという熱心な人びとで、終日埋めつくされていきました。また、今回も東京モーターサイクルショー委員会の主催による「最優秀二輪車大賞コンテスト」が行なわれましたが、選考の結果「ヤマハSRX250」が、'84年度の最優秀二輪車大賞を受賞しました。

「SRXはコア（中心）でありベージック（基本）であり、アベレージ（平均）時代のニーズをみこみに具現化しており、'84年を真にリードした象徴としてふさわしい」というのが、グランプリ受賞の理由です。

### 開発スタッフが

### トライのポテンシャルを自ら証明！

兄貴分のジヨグと比べても一歩もヒケをとらない走りのよさに、人気が集まるスマイリングスプリンター「トライ」。

そんな「トライ」の走りの良さを確かめようと、トライ新発売当日の3月10日、開発に携わったヤマハの技術スタッフがみずから「トライ」を駆ってスクーターレースに挑戦しました。

レースは、愛知県の作手高原カーランドで開かれた「YES・S・S」杯ミニバイクレース。ソフトバイクノーマル部門は、総エントリー60台以上、予選を行ない決勝出走は22台という「激戦区」です。

そんな中で初登場の「トライ」は大活躍。優勝と3位を獲得して、華々しくデビューを飾ったのです。



↑ストレートで、コーナーで、ぶっち切りの速さでトライのポテンシャルを証明！

→みずから開発に当たったトライを駆ってスクーターレースに挑戦したヤマハの技術スタッフ。⑨が優勝の寒河江選手



構です。お気軽にお寄せください。〒438 静岡県磐田市新貝2500 ヤマハ発動機株式会社 広報室宣伝課「ヤマハニュース」係 ☎05383(2)1111 内線2356

## ヤマハ・テクニカルセンターの指導ノウハウをフル投入した二輪教習所オープン



「単に免許取得を目的とした教習ではなく、交通モラル、交通マナーの向上につながる教育指導に一層努力したい」と話す福田社長（右）と高橋清保所長。

（ヤマハ関西株）免許取得指導から指導員教育まで幅広い二輪教習活動を展開しているヤマハテクニカルセンター（静岡県掛川市）の指導ノウハウを、全面的に採用した自動二輪教習所が、4月5日、大阪市住之江区にオープンしました。

これまでの普通自動車教習施設に二輪専用コースを新設した藤永自動車教習所（福田徳三郎社長）さん。ここでは、「一本橋測定器」などヤマハテクニカルセンター開発の教習器材を採用したばかりでなく、9名の指導員もテクニカルセンターで指導員資格を取得、さらに計20台の教習車もXJ400L、SR125Lなどヤマハ車ばかりと、すべてに渡ってヤマハが採用されています。

## 出版社のオープンフロアに'85ニューヤマハ登場！

「平凡パンチ」「ポパイ」「アンアン」などの人気マガジンでおなじみの出版社・マガジンハウスでは、東京・銀座にある同社ビル1階フロアをオープンスペースとして世界各国の雑誌

## ヤマハも協賛の 佐野元春コンサートツアー開催中！



ヤングに人気のロック歌手・佐野元春のコンサートツアーが、4月16日の金沢を皮切りに5月28日の東京品川プリンスホテル・アイスタリーナまで全国10都市を巡って開催されています。

今回のこのツアーには、ヤマハも協賛。各コンサート会場では、ニュースクーター「トライ」の展示も行なわれヤングの話題を呼んでいます。

新曲「YOUNG BLOODS」も好調な佐野元春コンサート。お客さまにぜひご案内ください。

## ヤマハサッカーチーム 東南アジア遠征



マレーシア・クアラルンプールの日本人学校サッカー少年団チームを指導、交流を深めるヤマハサッカーチーム



## 集立つ次代の経営者 ヤマハ奨学生・第2期生卒業

販売店後継者の方がたを対象にした教育制度『ヤマハ奨学生制度』がスタートして早5年になります。このほど第2期生18名が、3年間のヤマハ本社での集合教育を終えて無事卒業しました。

3月7日に行なわれた卒業式では全員が決意も新たに、次代の販売店経営への抱負を語りあっていました。



## 女子プロゴルフ「ヤマハカップ」開催 栄冠はC・ジョンソン選手(アメリカ)に!



優勝賞金500万円と副賞のヤマハクルーザー19EXを獲得して喜ぶジョンソン選手(左端)

ヤマハ発動機、日本楽器、ヤマハレクリエーションなどヤマハグループの主催による女子プロゴルフ「ヤマハカップ・レディスオープン」が4月12日から3日間、静岡県袋井市の葛城ゴルフクラブ・山名コースで開催されました。

14日の最終ラウンドへ首位タイで臨んだのはアメリカのジョンソン選手と韓国の具玉姫選手の2人。1万人のギャラリーが見守る中で最終日もジョンソン選手は絶好調。1アンダー71。通算4アンダー、212としたのに対し具選手は15番でトリプルボギーを叩くなど崩れて4位タイ。

結局、ジョンソン選手がみごと優勝を飾り、彼女には賞金500万円と副賞のヤマハクルーザー19EXが贈られました。

誌を展示したり、ビデオを放映してたいへん人気を集めています。

そんな中で先頃このオープンスペースに、FZ250フェーザー、FZ750、SRX400などで話題のニューヤマハが登場しました。「2&4ホイールギヤラリー」と銘打ったこのコーナーは、同社発行の雑誌に登場したバイクやクルマを展示する読者サービス。85ニューヤマハ3車も、訪れるヤングやギャルの関心を呼んでいました。



### SRXの操安性を楽しみ、V・MAXの強烈パワーにビックリ—— イタリアの専門誌ライダー

イタリアの人気二輪専門誌「モトスプリント」誌のテストライダー、C・ブラグリア氏が、先ごろヤマハを訪れ、ヤマハコースで85ニューモデルの試乗を行いました。

「今年のヤマハはどれもベスト・クオリティを実感できるものばかりです。とくにSRX600は、軽快で操安性も抜群。日本の自然の中を恋人とふたりタンデムで走れば最高でしょう」といかにも明るいイタリアのインプレッション。

またV・MAXは「低回転での強力なトルクと超ハイパワーにビックリしました。サイドでウイリーするんですからね」とも語っていました。

昨年は全日本1部リーグで最後まで優勝戦線の一角に加わり、大きな話題を集めたヤマハ・サッカーチームが今シーズンの開幕に先立って東南アジアに遠征。シンガポール、マレーシア、タイ、香港の各地で、各国チームとの親善試合を行いました。

またクアラルンプールとバンコクでは日本人学校を訪問して杉山監督以下ヤマハハイレブンがサッカー少年団に実技指導も行ない、子供たちに嬉ばれていました。

この東南アジア遠征によってさらにパワーアップしたヤマハサッカーチームに、今年もどうぞご声援ください。

世界チャンピオンE・ローソンとヤマハYZR500が、昨年にひきつづき第1戦・南アフリカGPを制覇、V2に向けて快調なスタートを切った。

第1戦から最大のライバル④スペンサーと激しいバトルを演じる①ローソンとYZR500



## ●'85世界選手権ロードレース第1戦・南アフリカGP

# 緒戦圧勝! E・ローソン/YZR500

G・アゴスチーニ監督(中央)とK・キャラザース、チーフメカ(その左)を中心に、チームワークもガッチリとV2を目指すヤマハ・マルボロチーム。ローソン①も新しい僚友R・ロッシ③を得て気合も十分

RT National Panasonic



注目の'85世界選手権ロードレースシリーズは、3月23日、南アフリカの首都・ヨハネスブルグ近郊のキャラミサーキットで、全12戦にわたる熱戦の火ぶたを切った。  
快晴、気温24・5度というコンディションの中で迎えたメインレース500ccクラスは、4・052キロのコースを30周するもの。スタートではF・スペンサーをポールポジションに、2番手にローソン、さらに3番手には100分の7秒遅れで昨年の250ccチャンピオンC・サロンとYZR500が並び、ファン注目を集めていた。

レースはまず、スペンサーが好ダッシュをみせ、ローソンがこれを追いつけるかたちになったが、ローソンは積極的にその差を縮めて、8周目の第1コーナーでスペンサーをラップ。しかし、スペンサーはその後必死にくい下がり、コンマ2秒、コンマ7秒という僅差で2人のヤング・アメリカンによる息づまるデッドヒートがくりひろげられ、つめかけた大観衆を熱狂させた。  
終盤26周目に入って勝負に出たローソンはスペンサーとの差を1・5秒と拡大。その後周ごとに差をひろげ、最終的には4・9秒の大差をつけて42分58秒0のタイムで圧勝した。また今シーズンから500ccクラスに復帰したサロンも、健闘よく6位に入賞。ローソンの新しいチームメイトR・ロッシは好タイムをマークしながらも25周目でリタイアした。



1戦、2戦と国内無敵の速さを見せつけている平忠彦

### ●'89全日本選手権ロードレースシリーズ

## 平忠彦／YZR500 独走優勝でV3へ好ダッシュ!

第1戦鈴鹿2&4がA級500ccとF1クラスだけの大会であったために事実上の開幕戦となった第2戦筑波ロードレース大会が、3月23、24の両日、筑波サーキットに3万8千6百人という過去最高の観衆を集めて開催された。

メインレース・国際A級500ccクラスでは、予選最高タイム59秒65をマークした平忠彦とYZR500が、決勝でも快調にトップを独走。2位の水谷勝に9秒の大差をつけて今季1勝目をマークした。

また国際B級250ccクラスでは昨年のノビリス250チャンピオン塩森俊修（SP忠男レーシング）がTZ250で独走優勝。A級をもしのぐ速さで、注目を集めていた。

### ●富士グランチャン第1戦

## ヤマハOX66、5位入賞!

3月の鈴鹿2&4から、G・リ12のドライビングで本格的な実戦活動を開始した四輪F2エンジン・OX66は、全日本F2シリーズとあわせて富士グランチャンピオンシリーズにもエントリーする

こととなった。

そして、注目のGO第1戦が、3月31日、富士スピードウェイで行なわれたが、OX66は初登場のフジをみごとに快走。予選2位、決勝でも堂々5位入賞を果たして話題を呼んだ。

### ●'85全日本選手権モトクロスシリーズ

## 光安鉄美／YZ250 雨の火山灰コースを完全制覇!



久びさのシャンペン・シャワーを第3戦以降の起爆剤に……光安への期待も一気に高まっている。

雨の第1戦から3週間、全日本モトクロスは第2戦も雨。阿蘇山麓・熊本県菊地郡の火山灰コースの最悪のコンディションの中で4月6、7日に行なわれた。

こうした中で、国際A級250ccクラスでは、YZ250を駆る光安鉄美が奮闘。まさに、不調に終わった第1戦のウサを吹きとばすように両

### ●全日本選手権第3戦・四国トライアル大会

## 伊藤敦志／TY250R 2戦連続優勝!

チャンピオン山本昌也とチャレンジャー、TY250Rの伊藤敦志との静かな熱戦が、ファン注目を集めている全日本選手権トライアルシリーズ。

3月24日の第2戦九州大会で今季初勝利を取った伊藤は、第3戦も快調。同減点ながらクリーン数で山本

ヒートを完全に制覇し、ランキングでも44ポイントで一気に3位に浮上している。

国際A級250ccの30分+2周レースで、わずか10周足らずしかできないほどのハードレースを制したミスターMX・光安の復調に、大きな期待が寄せられた第2戦であった。

を押さえて初の2連覇を達成。ポイント争いでも山本に10点差をつけて首位に立った。

シリーズ第3戦は、4月14日、花曇りの徳島県美馬郡・吉野川河川敷に33名のA級ライダーを集めて行なわれた。ロック中心の12セクションが設けられたコースを、5時間30分、

## 5月のレーシング カレンダー

- ▲5月5日
- 全日本ロードレース④ 筑波
- ロードレース②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
- 500ccモトクロス③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
- ▲5月12日
- 全日本モトクロス④ 鈴鹿
- ▲全日本トライアル④ 東北・荒川鉱山
- 500ccモトクロス④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
- 250ccモトクロス④ヘルギーP
- ▲5月19日
- 全日本ロードレース⑤ SUGO
- ロードレース③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
- 250ccモトクロス④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺
- ▲5月26日
- 全日本モトクロス⑤ SUGO
- ロードレース④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

で3ラップというこの大会で伊藤とTY250Rは快調。6500人の観衆が目守る中で次々とクリンを決め、減点42で山本と同点ながら、クリン数で3上まわり、みごと2連覇を飾った。



## 忙しい季節の時期こそキメ細かなご商売で差別化を図ろう!

忙しい季節を迎えるにつれ、つい雑になりがちなのがお客さまに対する態度。どうしても「売り」が優先する時期だけに、販売には直接結びつかない電話の応対や修理などの受付では、知らず知らずの内におさなりな態度になりがちなのです。とくに、'85ニューモデルの全国一斉発表試乗会を盛況に終えた今は、忙しさも倍増してそうした傾向に陥りがち。皆さまのお店でも以下のポイントに充分留意して、お客さまの分けへだてなくキメの細かいご商売を展開して下さい。

### ☆お客さまは「生」の情報を求めている

確かに新商品についての情報はあり余るほどお客さまの元に届けられています。テレビCFもそうなら、二輪専門誌もそう。そのほかチラシやカタログ、展示試乗会等と、あらゆる機会を用いて、商品紹介が行なわれています。でも、お客さまが最も必要としている情報は何かというと、それはお店が自信を持っている

も、誠心誠意応対しましょう。そして、来店に結びつける努力を試みて下さい。電話での応対はつねに明るくテキパキと行ない、お客さまに信頼感を与えることが肝心です。

### ☆サービスは完璧かつ公正正大に!

忙しい時、つい後回しになりがちなのが修理等の業務。しかし、お客さまにとってみれば、日常生活の足を失うことはやはり、「お家の一大事」なのです。どんなに古い車種であっても、それが他店で購入されたものであっても、サービスは迅速かつ完璧に対処することが鉄則。そして修理内容をハッキリと明示して、お

客さまに納得いく会計を行なってください。

### ☆アフターフォローは「ご商売の種まき作業」

もちろん、いまの時期のように拡販の絶好期には、何よりも需要拡大に力を注ぐ努力が重要であることは言うまでもありません。しかし、こうした時期にも同時に、次のご商売のための種まき作業は大切なのです。先きの全国一斉発表試乗会で得たお客さまの摘み取り作業には、さらにキメの細かいアプローチが必要。二段、三段にわたった需要喚起に加えて、誠心誠意をもって展開するアフターフォローで、広く大きくご商売をお育てください。

## ☆電話はセールス活動の第一歩

たとえそれが価格の問合せであったとしても

## SERVICE

## サービス技術の充実で

お客さまの信頼獲得にはなくてはならないのが、お店のサービス技術。ヤマハでは、今年も本社のある静岡県磐田市のヤマハ研修会館をはじめ、東京の研修センター東京、兵庫の研修センター神戸の3カ所です。ヤマハ技術講習会を実施。皆さまのお店のサービス技術の向上に、お役立ていただいています。今回は、この6月から9月までの講習会開催スケジュールを紹介いたしますので、皆さまのお店でも必要と思われるコースに参加し、ぜひこの機会にサービス技術の充実をお図りください。

### ヤマハ技術講習会スケジュール

- ＜6月＞
- 本社研修会館 電装(全国募集) 5日(水)～7日(金)
  - 研修センター東京 4～DOHC 4日(火)～6日(木)
  - 2～2気筒 11日(火)～13日(木)
  - 4～DOHC 18日(火)～20日(木)
  - 2～2気筒 25日(火)～27日(木)
  - 研修センター神戸



写真は、3月27～29日にヤマハ研修会館で開催された女性コース

## お客さまの信頼を築こう!

- ＜7月＞
- 2～単気筒 5日(水)～7日(金)
  - 4～DOHC 20日(木)～22日(土)
  - 研修センター東京 9日(火)～11日(木)
  - 2～2気筒
  - 研修センター神戸 10日(水)～12日(金)
  - 2～2気筒
  - 研修センター東京 6日(火)～8日(木)
  - 4～DOHC

### お揃えください!

'85ニューモデルのサービスマニュアルが完成しましたのでお知らせします。ご希望の方は、最寄りのヤマハ特約店および販売会社の営業技術課にてお求めください。

- CP 50 52W-28197-00/¥2,400
- CQ 50 1HV-28197-00/¥2,400
- 研修センター神戸 7日(水)～9日(金)
- 2～単気筒
- 本社研修会館 電装(全国募集) 4日(水)～6日(金)
- 4～DOHC 11日(水)～13日(金)
- 研修センター東京 10日(火)～12日(木)
- 2～2気筒 17日(火)～19日(木)
- 2～単気筒 26日(木)～28日(土)
- 研修センター神戸 4日(水)～6日(金)

### '85ヤマハ整備用機器&工具 スプリングセール終了!

お店のサービス業務の充実を目的として実施した恒例の「ヤマハ整備用機器&工具スプリングセール」は、4月15日をもって終了させていただきました。ご参加くださいました販売店さまに誌面をかりて、お礼申し上げます。

※この欄の詳細につきましては、最寄りのヤマハ特約店・販売会社の営業技術課までお問合せください。

## 日頃の「ご商売」の中で適切な安全運転指導を展開しよう!





本格的なツーリング・シーズンを迎えたい、積極的に展開していただきたいのが、皆さまのお店における安全運転推進活動。そこで今月は、そうした中で指導の展開についての留意点をご説明しましょう。

### お店自ら安全運転の手法を示そう

安全運転意識の啓蒙活動で、何よりも大切

なことは、お店自身が安全運転に対して高い意識を持っていることに尽きます。店長さまはもちろん、従業員さまやご家族の一人ひとりが常日頃から安全運転を心掛け、お客さまのお手本となるよう行動してください。

### 常にお客さまの安全運転意識を高めよう

新車を購入されたお客さまや、点検修理に来店されたお客さまには、その時どきで安全運転についての心構えをお伝えください。営業点検のおすすめもそうなら、交通マナーの普及もそう。要は、常にお客さまの頭の片隅に安全運転の意識を育ませておくことです。

### お客さま同士での安全運転意識を

お客さま同士で、いい意味でのライバル意識をもたせることも、こと安全運転推進活動には必要です。例えば無事故・無違反のコンテストをお店独自に開催するのもそのひとつ。月間単位、年間単位のコンテストの開催で、スポーツクラブのメンバーをはじめ、あらゆるお客さまを巻き込んだユニークな安全運転推進活動を展開してください。

### 広く地域へも安全運転をアピールしよう

せっかく安全運転意識を啓蒙するわけですから、

## SL活動を軸にYESスタッフの輪を広げよう!

スタートして半年ながら、1100店のショップ参加と2万人強のスタッフ(お客さま)参加を得て、ますます充実する「YES」(ヤマハ・アースリー・スポーツ・システム)の春には、早くもバイクピレツジをはじめとして、数かずのイベントを展開して大きな話題を呼んでいます。皆さまのお店でも、ぜひこの機会にYES活動を軸に、モータースポーツ&レジャーの普及を図るとともに、さらに大きな需要創造活動を展開してください。

### あらゆるお客さまをYESのスタッフに!

すでに2万人を超えるスタッフ(お客さま)が登録して、着々と組織拡充の進むYESですが、恒例のサマーフェスティバルを前にさらに広くスタッフ参加を呼びかけましょう。そして、YES活動の幅広さをあらゆるお客さまにお伝えください。YESのスタッフ・メリットはスポーツバイクのお客さまだけのものではありません。スクーターのお客

さまもそう。また、ジュニアスタッフ制度も完備されているのです。より多くのモーターサイクル・ファンのための「遊び」のクラブ——これがYESの活動コンセプトです。

### ご活用ください! YESスタッフボード

もうお使いですか? YESスタッフボード。YESスタッフの名前を書込み、店内の見やすい位置に掲示して、広くお店のお客さまにアピールして下さい。



※YESについてのお問合せは、最寄りのヤマハ特約店・販売会社のSLマンまでどうぞ。

### 大勢のお客さまを動員しよう!

SLスポーツイベントは、各地で積極的に行なわれています。以下に5月のイベントカレンダーを紹介しますので皆さまのお店でも大勢のお客さまに呼びかけ、参加・観戦をおすすめください。

- ＜北海道ブロック＞
  - SLモトクロス北海道大会第2戦(5/12、千歳)
  - SLスクーターレースS.R.第1戦(5/5、千歳)・第2戦(5/26、釧路)
- ＜東北ブロック＞
  - SLモトクロス&エンデューロ福島S.R.第2戦(5/19、二本松)
  - SLモトクロス象潟S.R.第1戦(5/12、象潟特設コース)
  - SL気仙沼プロダクションモトクロス大会第1戦(5/12、気仙沼)
  - SLモトクロス岩手S.R.第2戦(5/12、石巻特設コース)

- SLモトクロス青森S.R.第1戦(5/19、青森)
- SLモトクロス八戸S.R.第1戦(5/5、八戸スポーツランド)
- SLスコティッシュ杯秋田トライアル大会第1戦(5/26、太平スポーツランド)
- SLスコティッシュ杯岩手トライアル大会第1戦(5/3、岩手)
- SLスコティッシュ杯八戸トライアル大会第1戦(5/19、八戸)
- SLトライアルSUGO・S.R.第2戦(5/6、スポーツランドSUGO)
- SUGO選手権ロードレースS.R.第2戦(5/19、スポーツランドSUGO)
- SLスクーター耐久レースS.R.第1戦(5/12、みちのくスポーツランド)
- ＜関東ブロック＞
  - SLモトクロス・スプリント我孫子S.R.第1戦(5/12、我孫子特設コース)
  - SLモトクロス・スプリント甲府S.R.第2戦(5/19、スポーツランド山梨)
  - SLモトクロス・スプリント東松山S.R.第2戦(5/12、東松山特設コース)

- SLモトクロス・スプリント赤城S.R.第2戦(5/12、赤城ダートコース)
- SLモトクロス・エンデューロ茨城S.R.第3戦(茨城スポーツランド)
- SLトライアル真木S.R.第2戦(5/3、真木トレイルランド)
- SLトライアル市川S.R.第3戦(5/12、市川トライアルランド)
- SLトライアル茨城S.R.第4戦(5/12、茨城スポーツランド)
- SL三輪レース茨城S.R.第4戦(5/12、茨城スポーツランド)
- ＜中部ブロック＞
  - SLモトクロス員弁S.R.第3戦(5/19、ヤマハスポーツランド第一)
  - SLモトクロススポーツランド富山杯第1戦(5/3、スポーツランド富山)
  - SLトライアル員弁S.R.第3戦(5/19、ヤマハスポーツランド第一)
- ＜関西ブロック＞
  - SLモトクロス三田S.R.第2戦(5/19、三田モトクロス場)
  - SLオフロードコンテスト京都S.R.第1戦

- (5/26、ピバオトラント)
- SLオフロードコンテスト大阪西S.R.第2戦(5/12、井岡山モトクロス場)
- SLロッキートライアルS.R.第3戦(5/19、亀岡トライアルランド)
- ＜中国ブロック＞
  - SLモトクロス石見S.R.第2戦(5/12、SLランド三隅)
  - SLトライアル山陰S.R.第2戦(5/19、大東トレイルランド)
  - SLゼロハン松江S.R.第3戦(5/12、八雲カントリー)
- ＜四国ブロック＞
  - SLモトクロス四国S.R.第2戦(5/12、徳島)
- ＜九州ブロック＞
  - SLモトクロス九州S.R.北九州大会第1戦(5/12、行橋)
  - SLトライアル九州S.R.第1戦(5/26、福岡)

※詳しくは、最寄りのヤマハ特約店・販売会社のSLマンまでお問合せください。

# ーリングをエンジョイ

クラブ通信⑰

## ツーリンググクラブ・アバンティ

オートショップ上武 上武四郎社長(大阪府交野市倉治6-13-3)

クラブ員同志が自然に友人になって、誘いあってツーリングに出かける。ツーリング帰りのクラブ員がお店に立寄ってお土産を届けてくれる……そんな明るく、自由な雰囲気のある『ツーリングクラブ・アバンティ』さん。風薫る5月、クラブ員たちの活動も、日ごとに活発になっています。



●レディスやアダルトも含め  
会員もつか50名



「オートショップ上武」さんは本・支店あわせて3店舗。どこでも若いスタッフがお客さまをあたたく迎えて好評です。中央が上武四郎社長

創業20年の歴史を誇るオートショップ上武さん。当時からツーリングクラブを結成されていたそうですが、ツーリングクラブ・アバ

# レディスもアダルトも、自由な雰囲気です



ンティ」の名で、現在のように本格的な活動を開始したのは4年ほど前から。いまでは、16歳の高校生から50代の熟年バワイまで、会員数50名。この中には、予算的にもゆとりのあるツーリングを楽しむアダルトのクラブ、また上武社長の奥さま美津子さんを中心に7名の女性会員がいるレディスクラブも含まれています。

## ●月1回の定例ツーリングに「天狗の鼻」を折るYRS参加も

毎月1回の定例ツーリングは、第3日曜日。平均30名が参加し、250〜400キロも走ります。お店のある交野市から6〜7コース、すでにおなじみのコースがあり、季節に合わせて目的地が分けられています。そんな中でも、メンバーの人気を集めているのが、奈良県の竜神スカイラインのルートです。

この毎月1回の定例ツーリングと合わせて「アバンティ」の定例行事となっているのが春と秋、2回のYRS（ヤマハ・レイディングスクール）への参加です。そして、これには天狗になった若いクラブ員の鼻をヘシ折って改めて安全意識を植えつけるという大きな意義も含まれているのです。

「昨年のYRSには、うちのクラブから40人が参加しましたが、いいかげんな気持ちで参加すると大変。ハードなスクールなのでネを上げてしまう若い子もいますが、それだけ効果も大きいんです。少しでもバイクが上手になってもらおうと毎回参加しています」とは、ご自身もクラブ員と一緒に参加する上武社長。

さらに今年も、お店から約30分程の場所にある自動車教習所を会場に、「オートショップ上武」さん主催のミニYRSも予定されています。会費は3千円。基本テクニクから慣熟走行までの基本トレーニングに加えて、楽しいジムカーナの競技も開催、加えて話題のニューモデルの試乗会も予定され、クラブ員の間では早くも大きな話題を呼んでいます。

## ●5人のまとめ役がクラブをリード

このように、軌道に乗って快調な活動をつづける「ツーリングクラブ・アバンティ」ですが、入会に当たっての入会金や会費さらに会則などは一切なしという自由さ。そこで定例

ツーリングには、各自弁当持参、高速道路代も個人持ちとなるわけです。

とはいえ、会員間のコミュニケーションと連携はみごとなもの。それもそのはず、クラブのまとめ役となって活躍する若いメンバーが5人もいるからなのです。

「ツーリングコースの下見なども彼らがやってくれます。もちろん会長は置いていますし、それは年1回の選挙で、会員が選んでいます。会則がないといっても、社会常識に関しては厳しいですよ。安全運転や交通ルールについてもね……」

こうして、整然と隊列を組んでツーリングを楽しみ、目的地に着けば必ず2〜3時間の自由時間を設けて、出かけた先々の風物を楽しむゆとりも生まれてくるのです。

## ●自由な空気を大切に守りつづけて

「バイクを仲介して友達をつくりたい」と思っている若い子で想像以上に多いんですよ。うちのクラブは、会員同志が友人になる、その空気を一番大切にしているんです。高校生の会員が自分の親ほど年の離れた会員とタンデムで出かける、なんてこともあるほどなんです」

こうした自由な雰囲気ですから、クラブ員同志が声をかけあってツーリングに出かける姿も決して珍しくありません。

「クラブ員同志がささいあってツーリングに出かけると、店にも必ずお土産を持って来てくれるんです」

ツーリングクラブなどというと、店としてもいろいろと気をつかうことが多い、お客さんにしても「入会すればいろいろと束縛されるのでは……」といった気持ちもあるようなんです。うちではそんなことは全くないんです。もちろん若い子の多いクラブツーリングの時は、最後尾にうちの従業員をつけ、さらに軽トラも同行するといった配慮はしていますけれどね」

お店近くのファミリーストランで開かれるクラブのミーティングは底ヌケに明るい雰囲気。ヤングの多いクラブだけに「会員になるとみんなネアカに変っちゃいます」という「ツーリングクラブ・アバンティ」のみなさんです。

＊お店訪問＊  
 こんにはヤマハです

# 店舗演出、セールストーク、アフターサービスを3本柱に お客様さまを「100%満足させる」

藤田商会／藤田政義社長

福岡県筑紫野市大字二日市1037 電話092(922)3349

九州自動車道が走り、国鉄鹿児島本線、西鉄大牟田線が通る福岡県筑紫野市は、福岡市の衛星都市として日毎に拡大をつづけ、いまでは人口も6万5千人を数えています。

古くは「次田の湯」と親しまれた二日市温泉周辺の宅地化も急ピッチ。そんな中で、この3月本店のお隣りに新店舗をオープンし、本・支店2店舗でひとさき積極的な販売をされているのが、今月お訪ねした「藤田商会」さんです。

ヤングも、ファミリーも  
 お客様さまは「個性」を求めている

藤田政義社長が、お父さんの政幸さんからご商売を引継いだのはちょうど3年前の6月。いまではお客様の層も、ご商売の仕方や内容も、変化したものになっています。

「お客様は大きく分けると、親父の代から続いているビジネスバイクの人たち、それに市内の家庭を中心としたスクーターのお客さま。さらに2000人の学生さんがいる第一経済大学のヤングたちですね。うちの主力はスクーターです」。

そして最近では、こうしたお客さまそれぞれの中にも、じつにいろいろな変化が表われているといえます。

「ついこの前、1家に1台のキャンジになったファミリーユースのスクーターも、今じゃ1家に2、3台。家族の共有なんかじゃなく、完全にパーソナル・ユースになってるんですね」。

一方、大学生たちも、ちょっと前のように「安くて、走ればなんでもいいから……」なんて選び方はなくなっている。「カッコ良くて、

確かなもの」を求め始めたんです。いいかえれば「所有感のあるもの、価値感のはっきりしたもの」とでもいうんですかね。学生さんはアルバイトもどんどんやるし、収入も豊かですからね……」。

つまり、ヤングにも一般家庭のお客さまにも共通する最近のユーザー傾向は、「個性化」が一段とよまっています、ということではないでしょうか」。

こうしたお客さま分析にもとづいて、藤田社長が、実際の売りの場面で今一番気をつけているのが、「こうしたお客さまの個性化をサポートしよう」ということです。

## マーケットリーダーを育てる

### 3カ月毎の「無料点検診断」

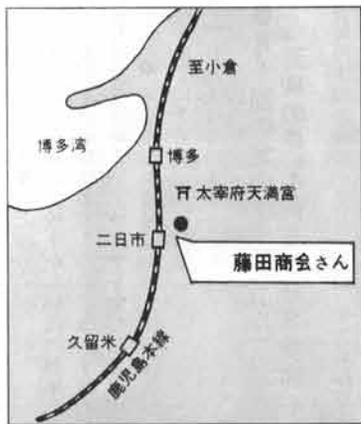
個性を求めたお客さまが、お店に求めるものは、100%の満足度、という観点から、「満足させる店舗」満足させる接客、「満足させるアフターケア」の3本柱を設け、ご商売の充実をはかっているわけです。

「セールストークひとつにしても、この個人的なスタイルはトライだけ……」とか「トライならではカクテルカラーですよ」といったように、とくにお客さまの「個性化」意識を満足させるような話し方、話題づくりに心がけています。

買っていただいた後は、徹底したアフターサービスですね。いつ、どこで故障しても即駆けつける態勢と、3ヶ月毎に行なう「無料点検診断」です」。

とくにこの「無料点検診断」は、「バイクをよりよく知らせる」「消耗する部分を正しく理解させる」「メンテナンスの経費をしっかりと承知させる」という藤田社長の狙いでつづ

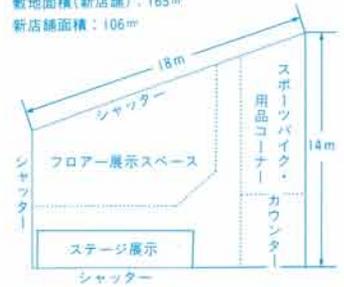
商圏内にある第一経済大学のお客さんと到着したばかりのホクソンをはさんで話はずむ。「より個人的に、とくにお客さんの意識に応えるようなセールストークが一番効果的なんです」と藤田社長（左）





天井から吊下げたトライがアイキャッチャーとなっているスクーターコーナー

敷地面積(新店舗): 165㎡  
新店舗面積: 106㎡



『みんな一度見たら忘れられないという』ほど楽しいペインティングを施した外装は、地域の人たちの人気のマト



→藤田社長とのイキも『ピッタリ』の奥さま一美さん

↓明るく広びろとした店内。歩道との境にはウィンドなどは一切なく、開放感いっぱい

「お客さまは、スクーターやバイクが必要で買いに来るんだから、無理に売り込もうとしないで、満足させ与えれば売れるんです」が持論の藤田社長が、もうひとつ大切にしているのが店舗演出です。

この春にオープンしたばかりの新店舗は、まさにそんな藤田社長の考えを表現するもの。お客さまが、自由に、気軽に出入りできるよなとウインドやドアは一切設けず、シャッターを開ければそのまま外の風が流れ込むよなになっています。そして一歩店内に入ると

「お客さまが友達に紹介したい店に！」

「最近では、スクーターの品質が良くなっていて3ヶ月毎に診断を受けに来るお客さまは、全体の1/2割にすぎません。でもそんなお客さまがしっかりと育ってマーケットリーダーになり、新しいお客さまを紹介してくれているんです。」



「お客さまは、早くもそのために第2ステップの構想も描かれています。」

藤田社長は、

「来店したお客さんが遊べるようなコーナーや、もつと話題性のあるコーナーを店内に設けていくこと。」

こうして店舗自体にお客さまをひきつけるパワーを持たせ、先の紹介販売とあわせてご商売を一気に拡大する——春商戦のもり上がりとともに、藤田社長の意欲も、大きくとふくらんでいます。

天井から吊り下げられた『トライ』が、お客さまの目を引きつけるといった具合です。

「アフターサービスで『信頼』を築き、明るくて楽しい店で、『自分の店を友人に紹介しよう』という気持をお客さんに起こしてもらおうと、いろいろトライしているんです。」

お客さんは、ある意味でうちの店の『宣伝マン』だし、営業マン。そのためには、なんといつもお客さまに『100%の満足』を与え、『友達に紹介したい店』にならなくてはなりませんからね。」



新店舗オープンを機会に、スポーツバイクコーナーも設けて、客層の拡大もはかられている

## 心ウキウキツリーリング気分。

新しいバイクも来たり、季節も絶好のツリーリング日和だし、この機会に思いきってライディングウェアを新調してみようか——というお客さまのために、ヤマハから自信のレザーグッズをご紹介しましょう。

### 随所に生かされた レーシングテクノロジー

ヤマハのレーシングノウハウは、マシンだけでなく、ウェアにも生かされています。

ライディングウェアとして、もっとも適した厳選された高品質の牛皮を使い、ライディングフォームを徹底的に分析した合理的なフォームに立体裁断。レーシングモデルには肩や腰、背中、膝をパッドで補強し、腰と膝には屈伸をスムーズにする独自のシャーリング加工を施しています。

強靱さと身体になじむ優しさ、この相反する要求を追求したのが、ヤマハのレザーグッズです。

### マシンを操るライダーの 立場に立った物づくりを展開

もちろん、そうした姿勢は、ライディングウェアだけでなく、グローブやブーツなどヤマハのすべてのライディンググッズの開発にも貫かれています。

たとえば、ヤマハグローブでいえば、ライダーの意志を的確に伝える優れたグリップ感覚。ロードレース用に新しく開発したニューカッティング方式、スーパーソリッドメソッド(S.M.)や、手のひらのたるみをとるノンスラック・カッティングを採用して、マシンを操るライダーの負担を軽減するとともに、ライディングの快適性を追求しています。

長年にわたるレース実績から得たノウハウをもとに、マシンを操るライダーの立場にたつてのライディンググッズづくり——その代表的なアイテムのひとつが、ヤマハのレザーグッズです。

### Y L 318 ヤマハツリーリングスーツ

ライディングフォームに対応した立体裁断により、あらゆる体の動きにすばやくフィット。腰部のシャーリングがホールド感を高めます。着脱容易なセパレートタイプ。  
●素材/良質牛皮(裏=ナイロンメッシュ) ●カラー/ネイビー&ホワイト、ブラック&ホワイト、レッド&ホワイト  
●サイズ/M、L、LL ■価格/¥125,000



### Y L 319 ヤマハ トラッティスーツ

スムーズなライディングフォームを可能にする膝シャーリングと腰シャーリング。機能性にテストをプラスしたニューアイテムで、上下が分かれるセパレートタイプ。SRXライダーへの推奨品です。  
●素材/良質牛皮(裏=ナイロンメッシュ)  
●カラー/ダークグレー  
●サイズ/M、L、LL ■価格/¥105,000

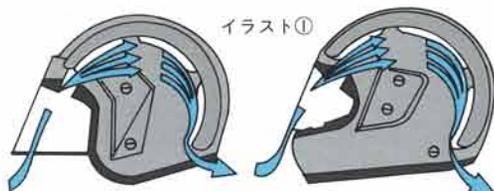


### Y L 606 ヤマハレーシングブーツ

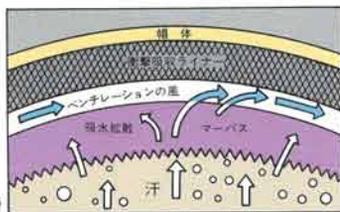
●素材/良質牛皮 ●カラー/ネイビー・レッド&ホワイト ●サイズ/24.0cm、24.5cm、25.0cm、25.5cm、26.0cm、26.5cm、27.0cm  
■価格/¥28,000

### Y L 607 ヤマハレーシングブーツ

●素材/良質牛皮 ●カラー/ネイビー・レッド&ホワイト ●サイズ/24.0cm、24.5cm、25.0cm、25.5cm、26.0cm、26.5cm、27.0cm  
■価格/¥28,000

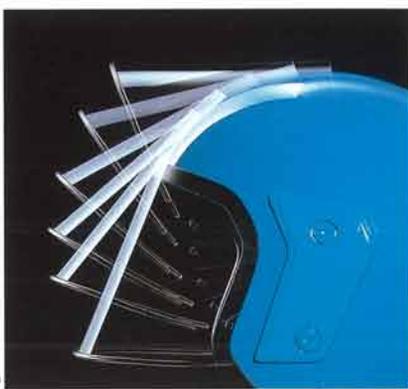


イラスト①



イラスト②

写真①



いま「風」がキメ手です!

■「風」が違うヤマハグッズ



Y L 504  
レーシンググローブGR-1

●素材/仔牛皮 ●カラー/ネイビー&ホワイト、レッド&ホワイト、サックス&ホワイト ●サイズ/M、L  
■価格/¥9,800



Y L 505  
レーシンググローブCOMP

●素材/良質牛皮 ●カラー/レッド&ブラック、ネイビー&レッド、ネイビー&サックス、イエロー&ブラック ●サイズ/M、L  
■価格/¥8,900



Y L 507  
ピュアスポーツグローブ

●素材/良質牛皮 ●カラー/ホワイト(レッド&ネイビーライン)、ホワイト(レッド&グリーンライン)、ホワイト(レッド&グレーライン) ●サイズ/S、M、L  
■価格/¥6,800



Y L 605  
ヤマハレーシングブーツ

●素材/良質牛皮 ●カラー/ブラック・レッド&ホワイト ●サイズ/24.0cm、24.5cm、25.0cm、25.5cm、26.0cm、26.5cm、27.0cm  
■価格/¥28,000

好評のヤマハ・ヘルメットシリーズに、新たにフルフェイスタイプの「ロールバーン」と、ジェットタイプの「リーウインズ」の2モデルを追加したことはすでに本誌前号でも紹介したとおりですが、このライト感覚なスポーツ・ヘルメットがいま市場で大きな人気を集めています。

なかでも受けているのが、「風」を意識したヤマハテクノロジーの数かず。ここでは、「ロールバーン」と「リーウインズ」に採用した機能を通して、「風」への気配りの大切さについてお話ししましょう。

たとえば、ライダーにとってシールドのくもりは、最大の難敵です。走っている間はいいとしても、いざ信号などで止まると視界一面にかすみがかかったという経験は、誰も一度はあるはず。とはいえ、止まるごとにシールドを開けているのも面倒なもの。そこで登場したのが、5ステップ・ラジアルラチェット機構(写真①)です。

新設計の5段階シールド開閉機構がそれですが、なかでも売りどころは1段階目の開閉を微小開に設定したところ。これによりシールドのくもり止めはもちろんヘルメット内部のベンチレーション効果にも威力を発揮しているのです。(イラスト①)

さらに、「リーウインズ」については、内装生地地に「マーバス」吸水・透湿性特殊生地を採用。ベンチレーションシステムとのベストマッチングによって、汗などによる不快感を一掃。これからの季節に大きな力を発揮します。(イラスト②)

そのほか、「ロールバーン」と「リーウインズ」の2モデルについては、エアロダイナミクステクノロジーによるスタイリッシュフォルムも実現。さまざまな観点から、さまざまな「風」への気配りが施されているのです。

**Roll Burn** ロールバーン

●規格/JIS・B種 ●帽体/FRP ●シールド/ハードコートシールド ●サイズ/55~56cm、57~58cm、59~60cm、61~62cm ●価格/¥12,800

**Lee Winds** リーウインズ

●規格/JIS・B種 ●帽体/FRP ●サイズ/55~56cm、57~58cm、59~60cm、61~62cm ●価格/¥12,800

■インフォメーション

新世代エンジンのためのハイパフォーマンスオイル  
ヤマハ4サイクルオイル好評発売中!



FZ750やFZ250フェーザーの新登場でさらに盛り上がるヤマハ4サイクルスポーツの春商戦ですが、それにタイミングを合わせてヤマハ4サイクル車専用のハイパフォーマンスオイル『FX』を新発売しました。

高品質摩擦軽減剤(FM)配合による強力な減摩作用(無添加オイルに比べて摩擦係数は約3分の1)と、エンジン内部を常にきれいに保つ優れた清浄分散性能、さらにオイル寿命をグーンと伸ばす酸化防止性能を完備した『FX』ですが、このオイルの使用によってエンジンは一段とパワーアップが図れ、さらに燃費も向上。ヤマハ・4サ

イクルファンの期待に応えています。

なお、FZ250フェーザーにつきましてはすでに工場にて摩擦軽減剤入りオイルの充てんを行なっておりますので、本体販売時にあわせて、必ず『FX』のご拡販もおすすめてくださいますようお願いいたします。

- 『ヤマハ4サイクルオイル・FX』仕様
- 粘度/SAE10W-30、20W-40
- グレード/APISE
- 指定車種/ヤマハ4サイクル全車適応(遠心クラッチ車を除く)
- 標準小売価格/¥1,350(1ℓ入り)

